

SmartMultiTap

ユーザーズマニュアル

2014年8月

第1.0版



ラトックシステム株式会社

安全にご使用いただくために

第1章 はじめに

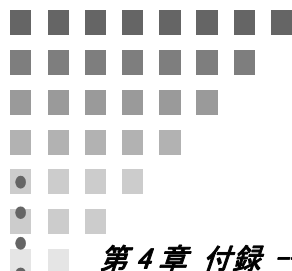
(1-1) 製品仕様	1-1
(1-2) 梱包内容の確認	1-3
(1-3) SmaTap8 について	1-4
(1-4) SmaJoint について	1-5
(1-5) アプリケーションについて	1-6

第2章 導入手順

(2-1) 使用できるようになるまでの手順	2-1
(2-2) 接続方法について	2-2
(2-3) SmaJoint の IP アドレス設定	2-3
(2-4) SmaJoint へのアクセス方法	2-5
(2-5) SmaJoint の時刻設定	2-6
(2-6) アプリケーションで計測開始	2-8

第3章 アプリケーション説明

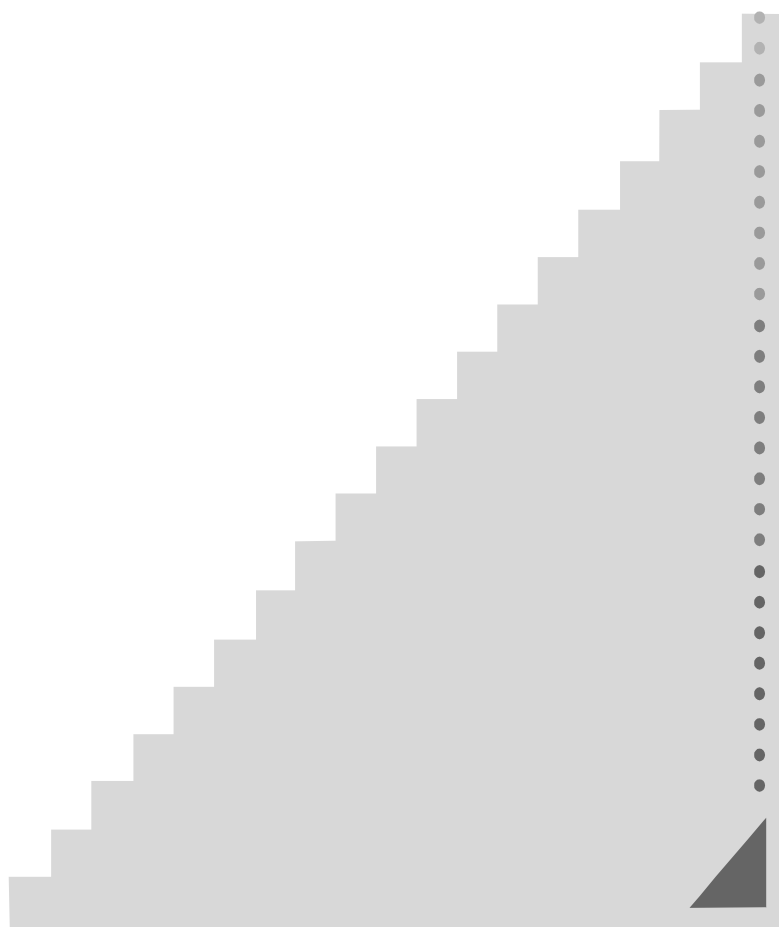
(3-1) Web アプリケーション起動と Windows アプリケーションの セットアップ	3-1
(3-2) グラフ表示	3-4
(3-3) 詳細グラフ表示	3-6
(3-4) SmaJoint のアドレス設定とアラーム通知設定	3-8
(3-5) Storage への接続設定	3-10
(3-6) メール通知設定	3-12
(3-7) 時刻設定	3-14
(3-8) 管理者用パスワードの設定/SmaJoint 名変更・リセット	3-16
(3-9) SmaTap8 の異常通知設定と名称変更	3-19
(3-10) 計測開始・停止設定	3-21
(3-11) ログ情報	3-23
(3-12) Outlet の電源設定	3-25
(3-13) タイマー設定	3-27
(3-14) 閾値設定	3-29
(3-15) 最新データ表示[Win アプリのみ]	3-31
(3-16) 電力データ保存[Win アプリのみ]	3-33
(3-17) メニューバーについて[Win アプリのみ]	3-34
(3-18) SmaJoint の追加と削除[Win アプリのみ]	3-35



第4章 付録

(4-1) ログ一覧	4- 1
(4-2) グラフ表示内容について[Winアプリ]	4- 4
(4-2-1) 詳細グラフについて	4- 4
(4-2-2) 一日グラフについて	4- 6
(4-2-3) 一週グラフについて	4- 7
(4-2-4) 一月グラフについて	4- 8
(4-2-5) 一年グラフについて	4- 9

製品に関するお問い合わせ





※ 本書はネットワーク設定等の知識がある方向けに記述しています。

Windowsやその他OS上で作業を行うネットワーク関連の設定方法は省略してあります。

● 安全にご使用いただくために

- ・ 記号説明

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、人が負傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害が想定される内容を示しています。

警告

- 製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。
- 1口10Aを超えるものを接続しないでください。コンセント1～8の合計が15Aを超えないようにしてください。
- 筐体穴に金属類を挿し込まないでください。
- プラグの栓刃の変形したものあるいは損傷したものは使用しないでください。
- 本製品は設置極付きのコンセントへ接続してください。
- プラグ変換アダプターには接続しないでください。

注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びたものの近くでの保管は避けてください。
- 本製品から発熱や煙などの異常が発生した場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- プラグを差し込む際は奥までしっかり差し込み、抜止形コンセントは確実に回転させてください。

第1章 はじめに

(1-1) 製品仕様

Smart MultiTap®は、8つのOutletを持つ「SmaTap®8(REX-SMT-MT)」とSmaTap8をコントロールする「SmaJoint® (REX-SMT-JT)」から構成され、ネットワーク経由でOutletの電源制御や電力情報を取得し閲覧することができます。SmaJointは最大4つのSmaTap8を制御できます。

電力情報の確認方法として、Windowsアプリケーションで確認する方法と、Webアプリケーションで確認する方法があります。

[IEEE1888 通信対応]

IEEE1888は国際標準化されたオープンな通信規格で、これを利用することにより電力量に関する情報などをベンダーの枠を超えて連携することができます。

IEEE1888では、GW(ゲートウェイ)・Storage(ストレージ)・APP(アプリケーション)と呼ばれる機能が定義されており、本製品では「SmaJoint」をGW、電力情報を保存する「サーバーPC」(*)をStorage、コマンドを送信する「Windowsアプリケーション/Webアプリケーション」をAPPとして使用します。

(* -- 利用する場合はサーバーPCを別途準備していただく必要があります。)

[電力情報取得]

SmaTap8で計測した結果は、SmaJointに約10日分(計測10分間隔の場合)のデータが保存されます。

SmaJointに保存された電力情報は、WindowsアプリケーションまたはWebアプリケーションで取得・表示することができます。

また、Windowsアプリケーションでは2つの時間帯の計測結果を同時に表示することもできます。

Storage用サーバーPCを準備している場合、SmaJointが取得した電力情報はStorageへ自動的に保存され、Windowsアプリケーションで取得・表示することができます。

[電力使用制限]

Outletの消費電力量が一定の値を超えた場合に、Outletの電源をOFFにするようにアプリケーションで設定することができます。

[電源制御]

アプリケーションから Outlet の電源を ON/OFF することができます。

[電源 ON/OFF 予約]

指定した日時に Outlet の電源を ON/OFF するようにアプリケーションで設定することができます。

[お知らせ機能]

アプリケーションで設定した消費電力量を超えた場合に、メールおよびアラーム(*)で知らせることができます。

また、SmaTap 接続ケーブルが抜けた場合、SmaTap8 の接続異常を検知してメールおよびアラーム(*)で知らせることができます。

(* -- Windows アプリケーションで設定した音声ファイルが、アラーム通知を受け取る PC 上で再生されます。アラーム通知を受け取る PC 上では、Windows アプリケーションが起動している必要があります。)

[ログ情報取得]

アプリケーションで設定した消費電力量を超えた場合、Outlet の電源が ON/OFF された場合のログをアプリケーションで確認することができます。

Storage が存在する場合 -- Storage に保存されます。SmaJoint には新しいデータから 100 件まで保存されます。

Storage が存在しない場合 -- SmaJoint に新しいデータから 100 件まで保存されます。

[計測データ保存]

Windows アプリケーションでは、計測したデータを CSV ファイルに保存することができます。

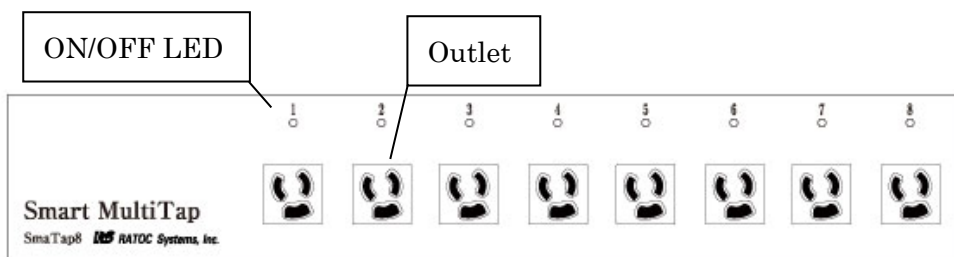
(1-2) 梱包内容の確認

ご使用前に添付品のご確認をお願いします。

REX-SMT-E8R (スターターセット)	SmaTap×1 SmaJoint×1 SmaTap 接続ケーブル(約 10m) AC アダプター(SmaJoint 用) LAN ケーブル 保証書×2
REX-SMT-E16R (ベーシックセット)	SmaTap×2 SmaJoint×1 SmaTap 接続ケーブル(約 10m)×2 AC アダプター(SmaJoint 用) LAN ケーブル 保証書×3
REX-SMT-MT	SmaTap×1 SmaTap 接続ケーブル 保証書
REX-SMT-JT	SmaJoint×1 AC アダプター(SmaJoint 用) LAN ケーブル 保証書

(1-3) SmaTap8 について

名称	SmaTap8
型番	REX-SMT-MT
Outlet	8口 (通電LED付)
	抜止形 Outlet (接地極付)
定格電圧	AC100V
定格電流	1口当たり 10A まで Outlet1~8 合計 15A まで
過電流保護	ブレーカー
電源プラグ形状	接地極付プラグ
電源コード	約 3m
コネクタ	SmaTap 接続ジャック (SmaJoint または SmaTap8 接続用)
消費電力	5.5W(typ)
寸法	435mm(W)×75mm(D)×63mm(H) ※突起含まず
重量	約 2.3kg
筐体材質	鋼板 (SPCC)



[SmaTap8 上面]

DIP SW
(下が ON)

ID	SW1	SW2
0	OFF	OFF
1	ON	OFF
2	OFF	ON
3	ON	ON

※ 複数台接続時は終端となる SmaTap8 の SW4 を ON にします。

※ SW3 は使用しません。

※ 出荷時設定は全て OFF となります。

The side view of the SmaTap8 device shows the AC power input socket at the top, a circular DIP switch cover in the middle, and two SmaJoint/SmaTap8 connectors at the bottom. A power cord is plugged into the AC socket.

定格電流を超えると本製品への AC100V 入力
が遮断されます。
この状態から復旧する
場合にこのスイッチを
使用します。

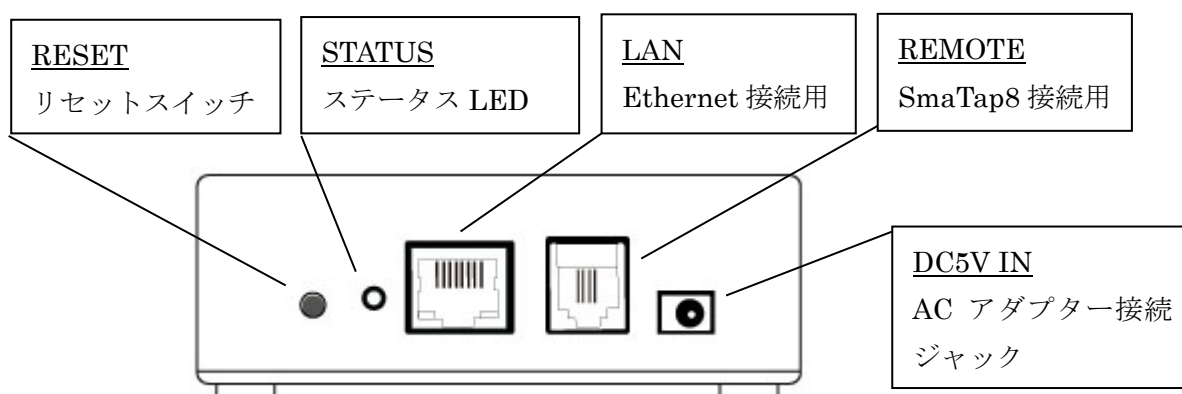
電源コード

SmaJoint 接続用
SmaTap8 複数台接続
用

[SmaTap8 側面]

(1-4) SmaJoint について

名称	SmaJoint
型番	REX-SMT-JT
電源電圧	DC5V
スイッチ	リセットスイッチ (工場出荷状態にリセット)
LED	ステータス LED (点灯：動作中、点滅：リセット完了)
LAN コネクタ (Ethernet 接続用)	10/100 BASE 全二重/半二重
対応プロトコル	Ethernet/ARP/ICMP/IP(v4)/UDP/TCP/ DHCP(クライアント)/HTTP/SNTP/SMTP/POP3/ DNS/SNMP
SmaTap 接続ジャック (SmaTap8 接続用)	RS-485 全二重
寸法	65mm(W)×100mm(D)×35mm(H) ※突起部含まず
重量	約 100g
筐体材質	ABS 樹脂 (UL94HB)



[SmaJoint 側面]

リセットスイッチの使用方法について

次の手順にて SmaJoint を工場出荷状態にリセットすることができます。

※ リセット後の SmaJoint の IP アドレスは 192.168.0.111 に変更されます。

1. AC アダプターを取り外し電源供給されていない状態にする。
2. リセットスイッチを押したまま AC アダプターを接続する。
3. ステータス LED が点滅していることを確認しリセットスイッチを放す。
4. ステータス LED が点滅状態から点灯状態になるまで待つ。(約 80 秒)
5. AC アダプターを取り外し再接続する。

(1-5) アプリケーションについて

本製品で計測した電力情報を取得・表示、本製品の電源を制御するアプリケーションには、PC上で動作する Windows アプリケーションと Web ブラウザ上で操作する Web アプリケーションがあります。

[Windows アプリケーション (ホームページよりダウンロード)]

弊社ホームページよりダウンロードしたアプリケーションのインストールが必要です。

- ・ Storage または SmaJoint に保存された電力情報を取得・表示。
- ・ 本製品の電源制御。
⇒ 詳細については「第3章 アプリケーション説明」をご参照ください。
対応 OS : Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista
対応環境 : .NET Framework 4.0 以降がインストールされていること。

[Web アプリケーション]

Web ブラウザの URL に IP アドレスを入力してアクセスを行います。

- ・ SmaJoint に保存された電力情報を取得・表示、本製品の電源制御。
(SmaJoint に割り当てられた IP アドレスにアクセス)
⇒ 詳細については「第3章 アプリケーション説明」をご参照ください。
対応ブラウザ : Internet Explorer 9.0 以降
 Chrome 36.0 以降
 Firefox 30.0 以降
 Safari 5.1.7 以降
 Opera 22.0 以降

第2章 導入手順

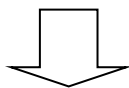
(2-1) 使用できるようになるまでの手順

本製品を使用して電力データの計測を開始するまでの手順について説明いたします。

1. SmaTap8/SmaJoint を接続する。
2. Storage 用サーバーPC を準備する。(Storage を使用する場合)
3. SmaJoint の IP アドレス・時刻設定。
4. アプリケーションで計測開始。

1. SmaTap8/SmaJoint を接続する。

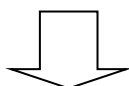
⇒ 「(2-2) 接続方法について」をご参照ください。



2. Storage 用サーバーPC を準備する。(Storage を使用する場合)

⇒ 「別冊 Storage サーバーについて」をご参照ください。

※ Storage 用サーバーPC が無い場合、計測データは SmaJoint に保存され、約 10 日分(10 分間隔での計測の場合)までの保存となります。

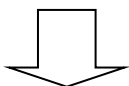


3. SmaJoint の IP アドレス・時刻設定。

⇒ 「(2-3) SmaJoint の IP アドレス設定」をご参照ください。

「(2-4) SmaJoint へのアクセス方法」をご参照ください。

「(2-5) SmaJoint の時刻設定」をご参照ください。



4. アプリケーションで計測開始。

⇒ 「(2-6) アプリケーションで計測開始」をご参照ください。

(2-2) 接続方法について

SmaTap8 と SmaJoint の接続方法と手順について説明いたします。

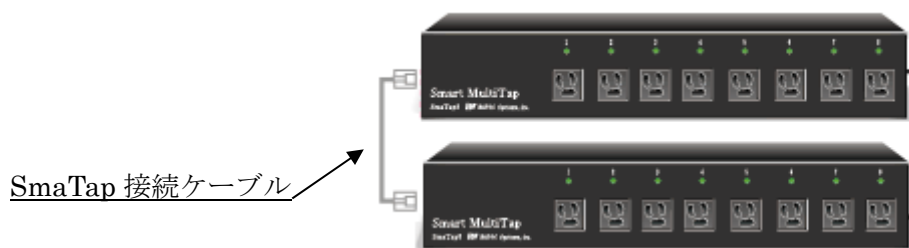
(SmaTap8 と SmaJoint の電源は「4.」で投入します。)

1. SmaTap8 間を SmaTap 接続ケーブルで接続する。
2. SmaTap8 と SmaJoint 間を SmaTap 接続ケーブルで接続する。
3. SmaJoint を LAN ケーブルで Ethernet へ接続する。
4. SmaTap8 と SmaJoint の電源を投入する。

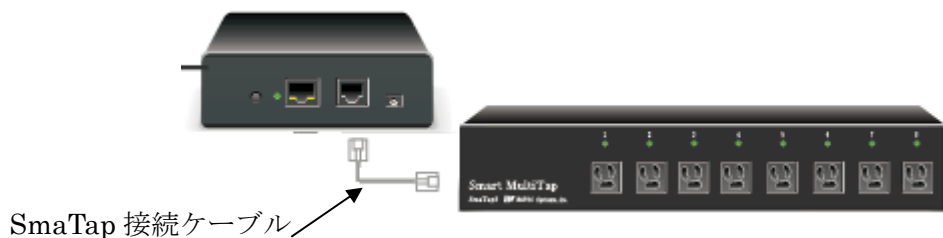
1. SmaTap8 間を SmaTap 接続ケーブルで接続する。(SmaTap8 が複数の場合)

複数の SmaTap8 を使用する場合は、SmaTap 接続ケーブルで接続します。

DIP SW の ID は各 SmaTap8 で異なる値を設定します。



2. SmaTap8 と SmaJoint 間を SmaTap 接続ケーブルで接続する。



3. SmaJoint を LAN ケーブルで Ethernet へ接続する。



4. SmaTap8 と SmaJoint の電源を投入する。

SmaTap8 は電源コードを AC コンセントに接続、SmaJoint は付属の AC アダプターを接続します。

(2-3) SmaJoint の IP アドレス設定

工場出荷時の SmaJoint の IP アドレスは 192.168.0.111 となっていますので、以下の手順にしたがい使用環境に合わせた IP アドレスへの変更が必要となります。

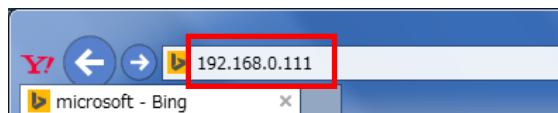
1. ホスト端末の IP アドレスを設定。
2. Web ブラウザより SmaJoint へアクセス。
3. SmaJoint の IP アドレスを設定。

1. ホスト端末の IP アドレスを設定。

ホスト端末の IP アドレスを 192.168.0.xxx に設定します。
(ホスト端末の IP アドレス変更は[コントロールパネル]-[ネットワークと共有センター]-[ローカルエリア接続]-[プロパティ]を開き[インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]のプロパティより行います。
設定後はホスト端末の IP アドレスを元に戻してください。)

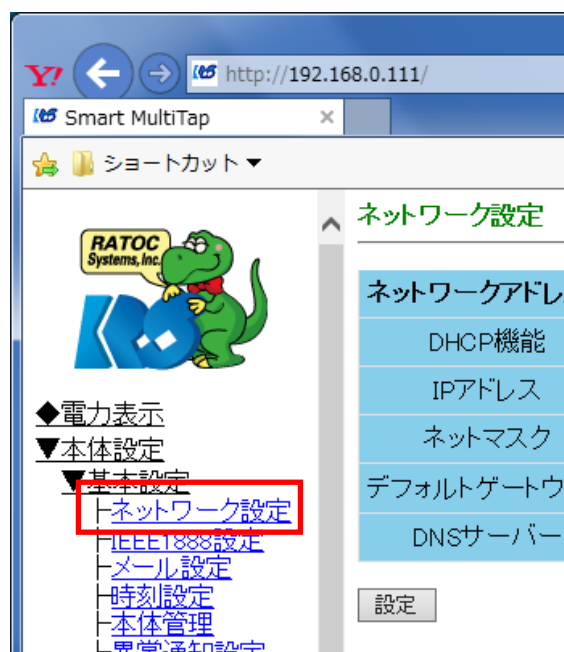
2. Web ブラウザより SmaJoint へアクセス。

Web ブラウザ上のアドレスバーに 192.168.0.111 を入力します。

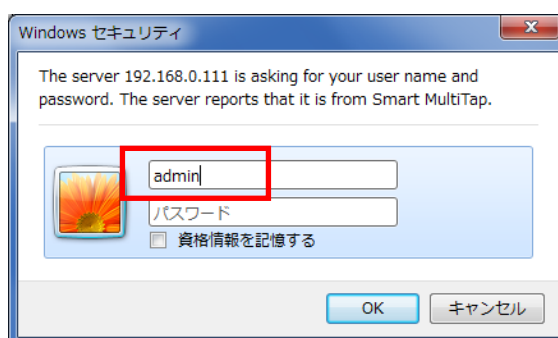


3. SmaJoint の IP アドレスを設定。

設定画面の[本体設定]-[基本設定]-[ネットワーク設定]をクリックします。

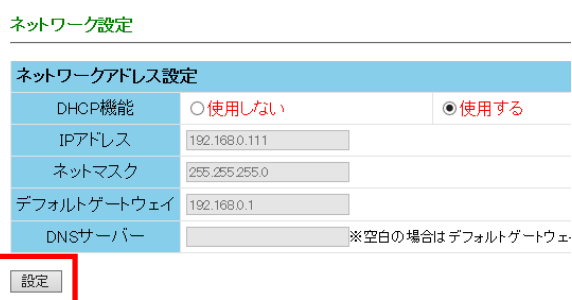


ユーザー名に「admin」を入力し「OK」をクリックします。



DHCP 機能を使用しない場合は「使用しない」を選択、IP アドレスを設定し「設定」をクリックします。

DHCP 機能を使用する場合は「使用する」を選択し、「設定」をクリックします。



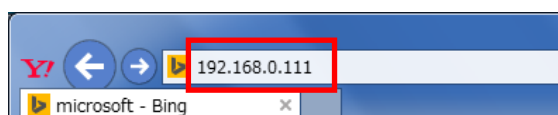
SmaJoint から AC アダプターを外し、再接続すると IP アドレスが更新されます。

(2-4) SmaJoint へのアクセス方法

Web アプリまたは Windows アプリから SmaJoint へアクセスすることができます。
※ DHCP 機能を使用して SmaJoint へ IP アドレス設定を行った場合は Windows アプリで SmaJoint を検出して IP アドレスを確認します。

Web アプリ

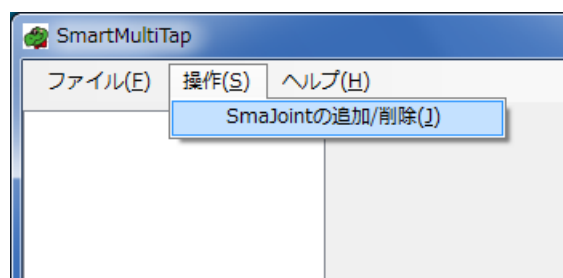
Web ブラウザ上のアドレスバーに設定した IP アドレスを入力します。



Win アプリ

Windows アプリケーション(SmartMultiTap)で SmaJoint を検出することができます。

SmartMultiTap を起動し、
[操作(S)]-[SmaJoint の追加/削除(J)]を
選択します。



本製品が検出されますので、
SmartMultiTap で使用する場合は、[名前]にチェックを入れ「追加/削除」をクリックします。



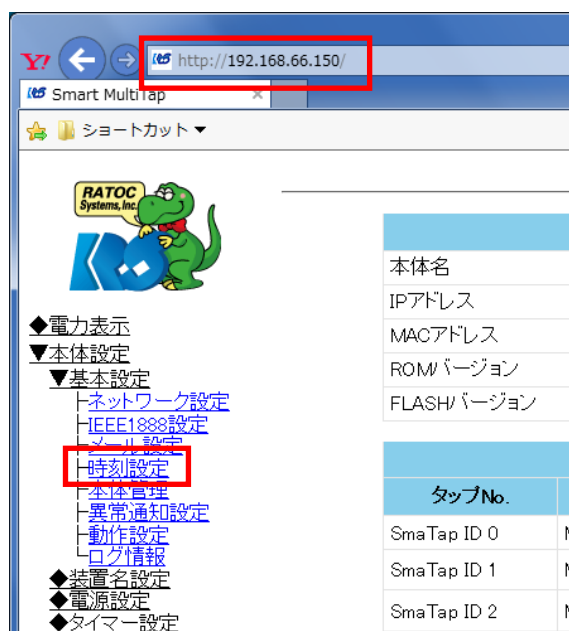
(2-5) SmaJoint の時刻設定

製品導入時、または SmaJoint リセット後には時刻情報が初期状態で設定されておりませんので、時刻設定を行う必要があります。

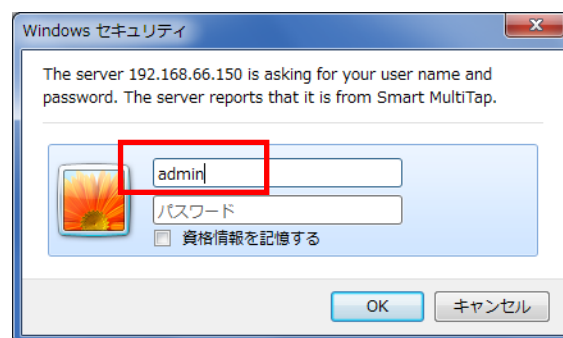
Web アプリ

Web ブラウザ上のアドレスバーに、SmaJoint に割り当てられた IP アドレスを入力します。

[本体設定]-[基本設定]-[時刻設定]を選択します。



ユーザー名に「admin」を入力し「OK」をクリックします。



「OS から時間取得」をクリック、または時刻を入力し「設定」をクリックします。

時刻設定

※測定動作中は変更できません。

時刻設定

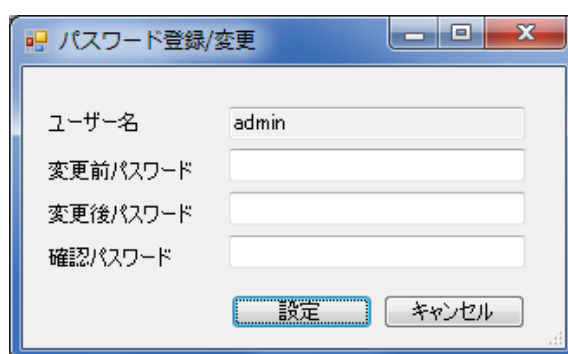
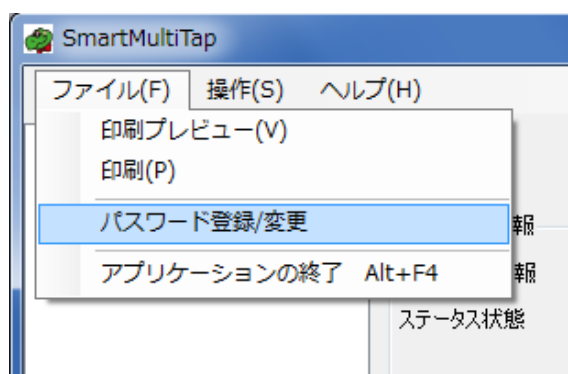
時刻 2014 年 7 月 1 日 18 時 14 分 57 秒

Win アプリ

電源制御やネットワークなどの設定を行うには、アプリケーションで登録された管理者の認証が必要となります。

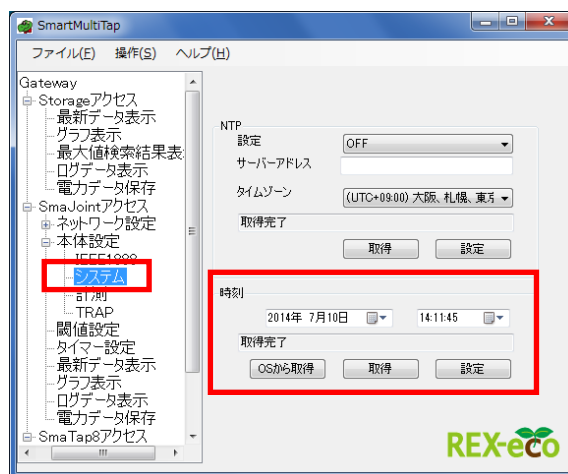
管理者のユーザー名は「admin」（固定）となり、デフォルトのパスワードは設定されていません。

パスワードの登録を行うには、[ファイル]-[パスワード登録/変更]を選択します。



SmartMultiTap を起動し、[SmaJoint アクセス]-[システム]を選択します。

「OS から取得」をクリック、または時刻を入力し「設定」をクリックします。



(2-6) アプリケーションで計測開始

以下の説明は、計測を開始するだけの手順となります。
その他の機能につきましては「第3章 アプリケーション説明」をご参照ください。

Web アプリ

Web ブラウザ上のアドレスバーに、
SmaJoint に割り当てられた IP アドレスを入力します。

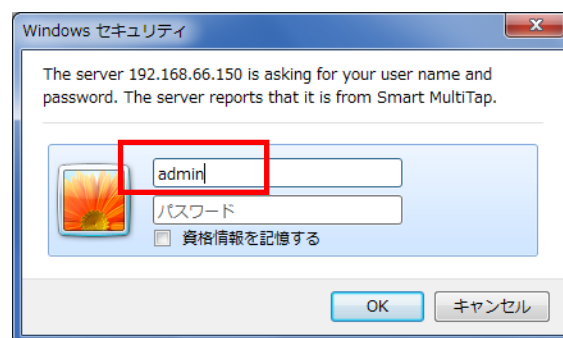
[本体設定]-[基本設定]-[動作設定]を選択します。

(Storage 用サーバーPC に計測データを保存する設定方法については

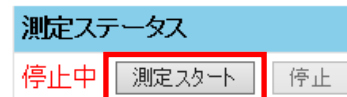
「(3-5) Storage への接続設定」をご参照ください。)

ユーザー名に「admin」を入力し「OK」をクリックします。

測定間隔を選択し「設定」をクリック後「測定スタート」をクリックします。



測定モード設定



測定間隔を変更した場合は、閾値設定の時間設定の確認してください。

※測定中は変更できません

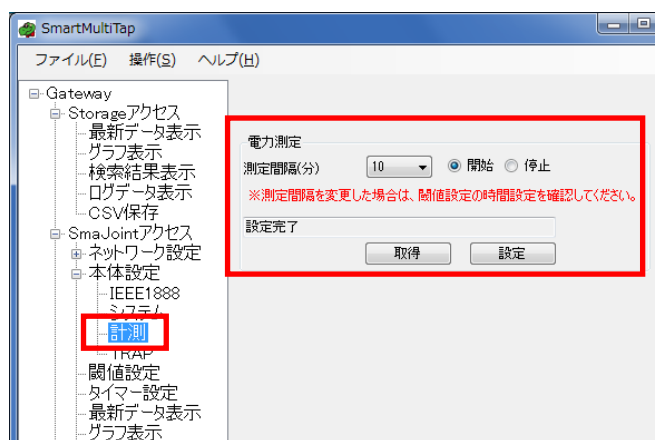


Win アプリ

SmartMultiTap を起動し、
[SmaJoint アクセス]-[計測]を選択
します。

測定間隔と「開始」を選択し「設定」
をクリックします。

(Storage 用サーバーPC に計測データを
保存する設定方法については
「(3-5) Storage への接続設定」をご参照
ください。)



第3章 アプリケーション説明

SmaJoint に保存された計測データの取得および SmaTap8 の電源制御など各種設定は、Web アプリケーションまたは Windows アプリケーションで行うことができます。

(Storage を準備している場合、Storage に保存された計測データは Windows アプリケーションでのみ確認できます。)

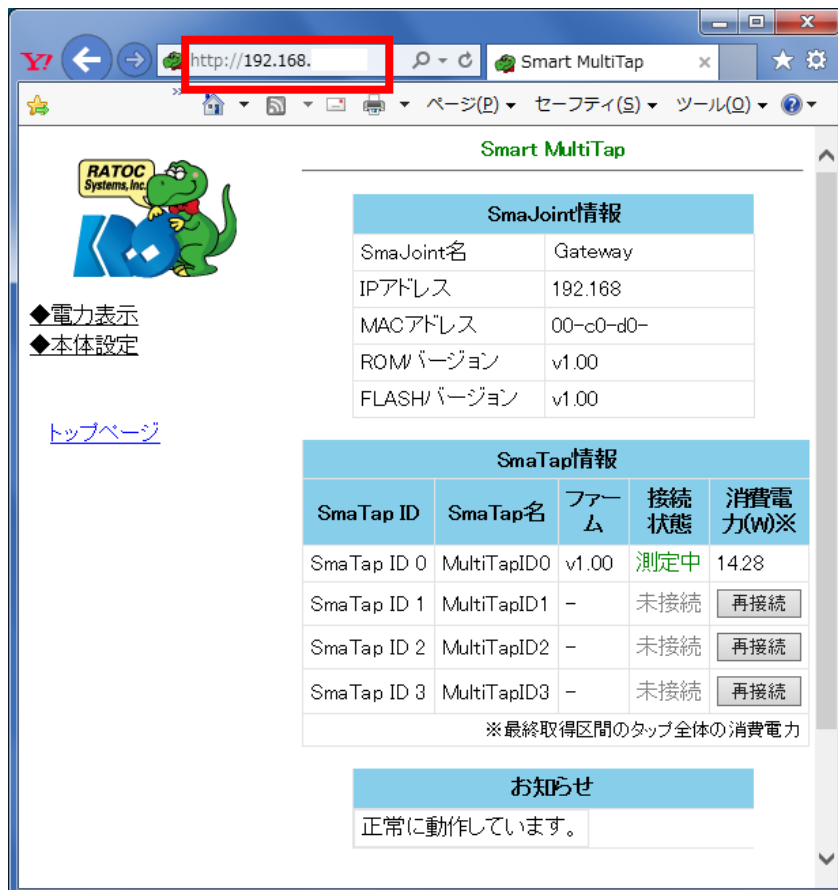
(3-1)では、Web アプリケーションの起動方法と Windows アプリケーションのセットアップ方法について、(3-2)以降では各機能について説明いたします。

(3-1) Web アプリケーションの起動と Windows アプリケーションのセットアップ

Web アプリ

■ Web アプリケーションの起動方法

Web ブラウザ上のアドレスバーに、SmaJoint に割り当てられた IP アドレスを入力すると、SmaJoint の情報が表示されます。



The screenshot shows a web browser window with the address bar containing 'http://192.168.' highlighted in red. The page title is 'Smart MultiTap'. The main content area is divided into two sections: 'SmaJoint情報' and 'SmaTap情報'.

SmaJoint情報

SmaJoint名	Gateway
IPアドレス	192.168
MACアドレス	00-c0-d0-
ROMバージョン	v1.00
FLASHバージョン	v1.00

SmaTap情報

Sma Tap ID	Sma Tap名	ファーム	接続状態	消費電力(W)※
Sma Tap ID 0	MultiTapID0	v1.00	測定中	14.28
Sma Tap ID 1	MultiTapID1	-	未接続	<input type="button" value="再接続"/>
Sma Tap ID 2	MultiTapID2	-	未接続	<input type="button" value="再接続"/>
Sma Tap ID 3	MultiTapID3	-	未接続	<input type="button" value="再接続"/>

※最終取得区間のタップ全体の消費電力

お知らせ

正常に動作しています。

Win アプリ

■ Windows アプリケーションのセットアップとアンインストール

[セットアップ]

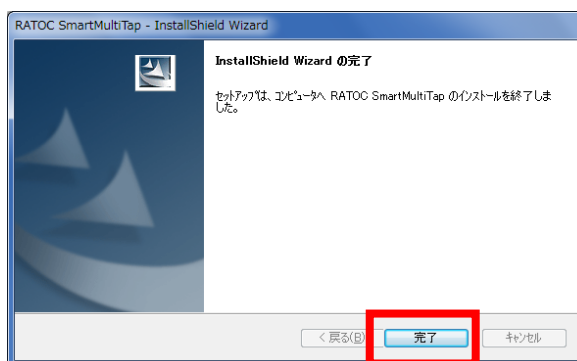
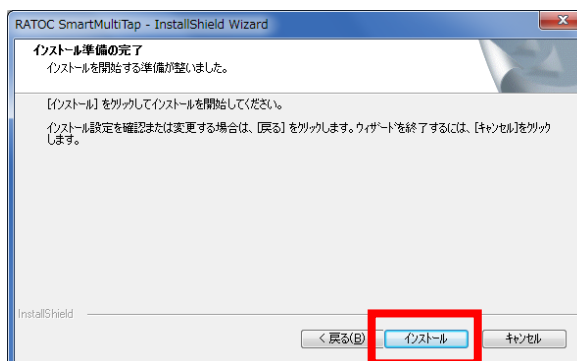
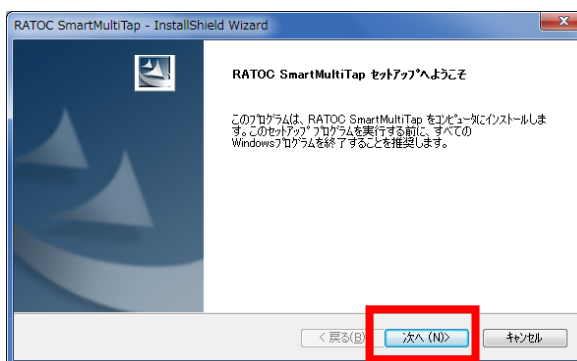
弊社ホームページよりダウンロードした SmartMultiTapSetup.exe を実行します。

ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は「はい(Y)」をクリックします。

「次へ(N)」をクリックします。

「インストール」をクリックします。

以上で Windows アプリケーションのセットアップは完了です。



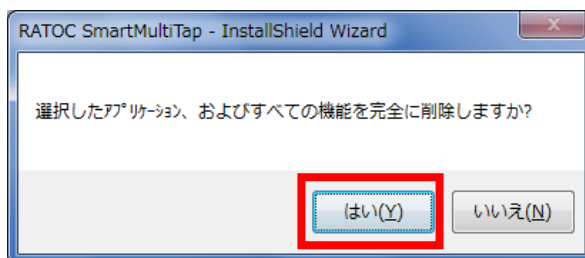
[アンインストール]

コントロールパネルの[プログラムと機能]を起動し

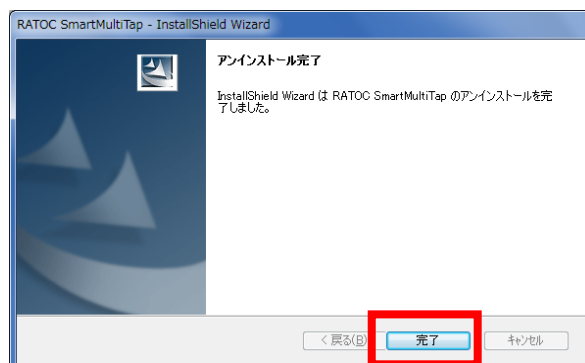
「RATOC SmartMultiTap」を選択して「アンインストール」をクリックします。



「はい(Y)」をクリックします。



以上で Windows アプリケーションのアンインストールは完了です。

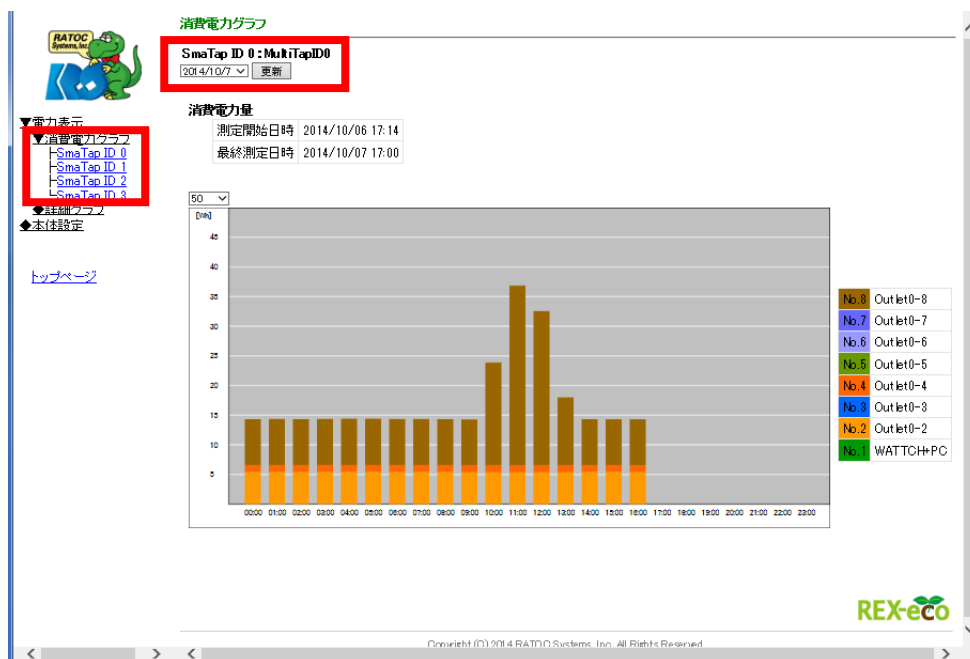


(3-2) グラフ表示



[電力表示]-[消費電力グラフ]

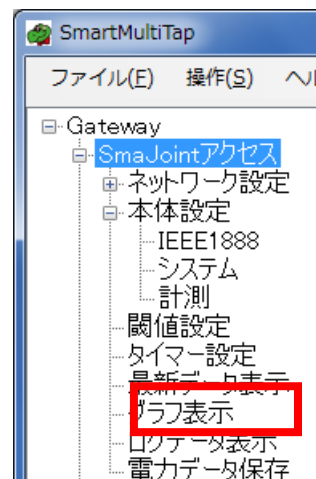
Web 画面上で選択した SmaTap8 名の消費電力をグラフ表示します。
日付を変更することにより以前のグラフを表示することができます。



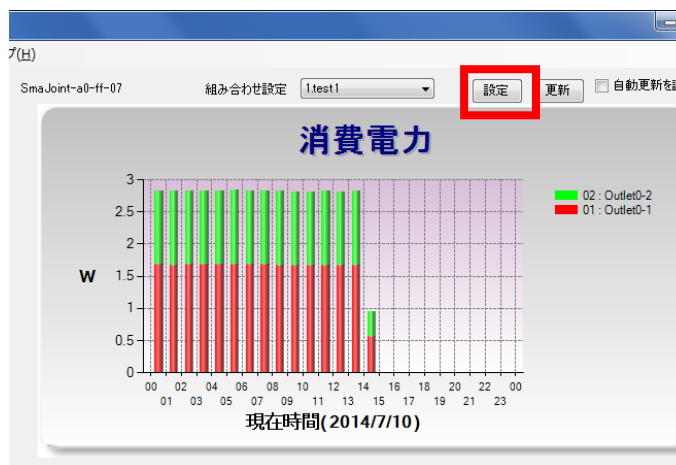
Win アプリ

[SmaJoint アクセス]-[グラフ表示]

各計測データをグラフで確認することができ、複数のOutletについて同時に表示することができます。また、設定した表示期間よりも過去のデータと同時に表示することにより比較して確認することができます。



[組み合わせ設定]から登録済みの組み合わせに切り替えることができます。



「設定」をクリックし [Outlet の選択 / グラフ表示期間 / 表示内容 / 過去グラフ表示] の設定を行います。

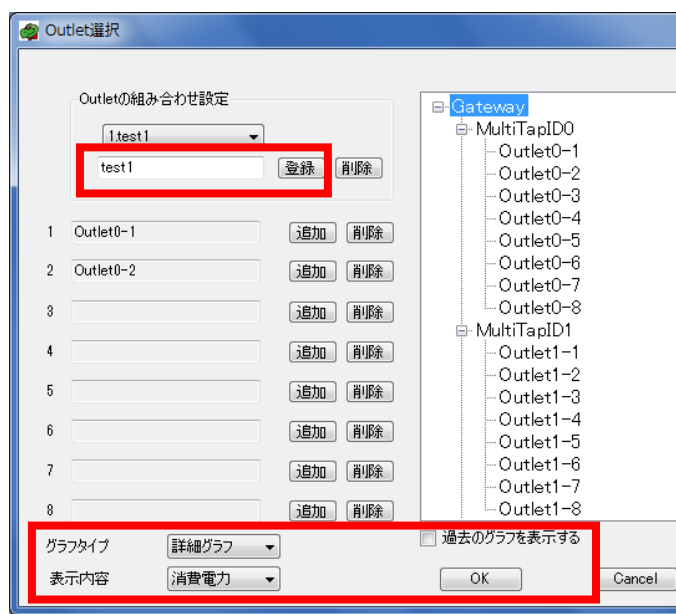
Outlet の選択を変更した場合は、再度登録する必要があります。

[グラフタイプ]

詳細 / 1日 / 1週間 / 1ヶ月 / 1年 から表示期間を選択します。

[表示内容]

表示する内容を [消費電力 / 総電力量 / 電圧 / 電流] から選択します。

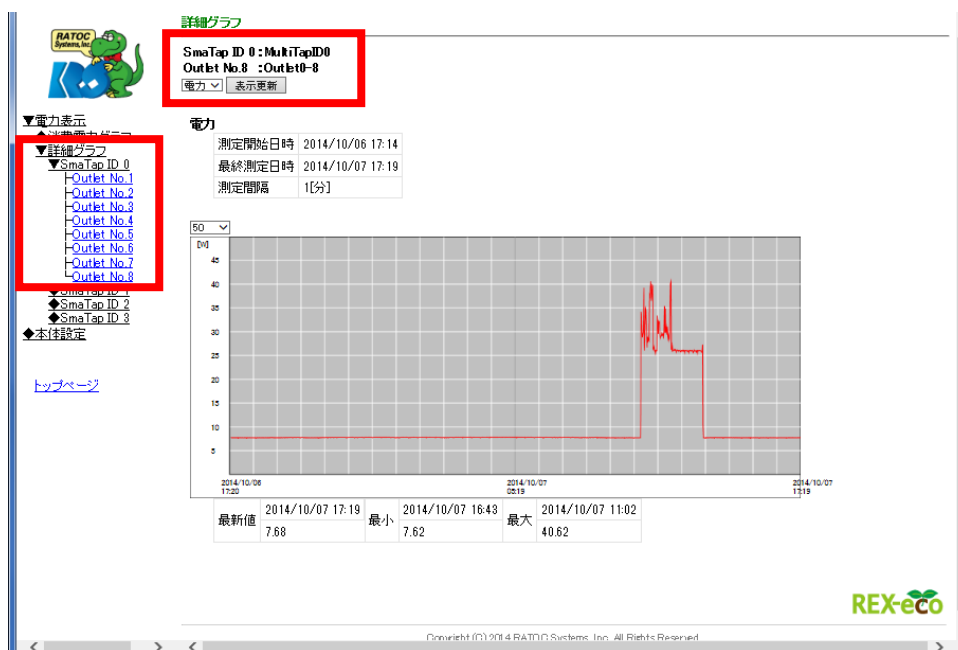


(3-3) 詳細グラフ表示



[電力表示]-[詳細グラフ]

Outlet ごとの計測データをグラフ表示します。
表示する内容を[電力/電圧/電流]から選択できます。

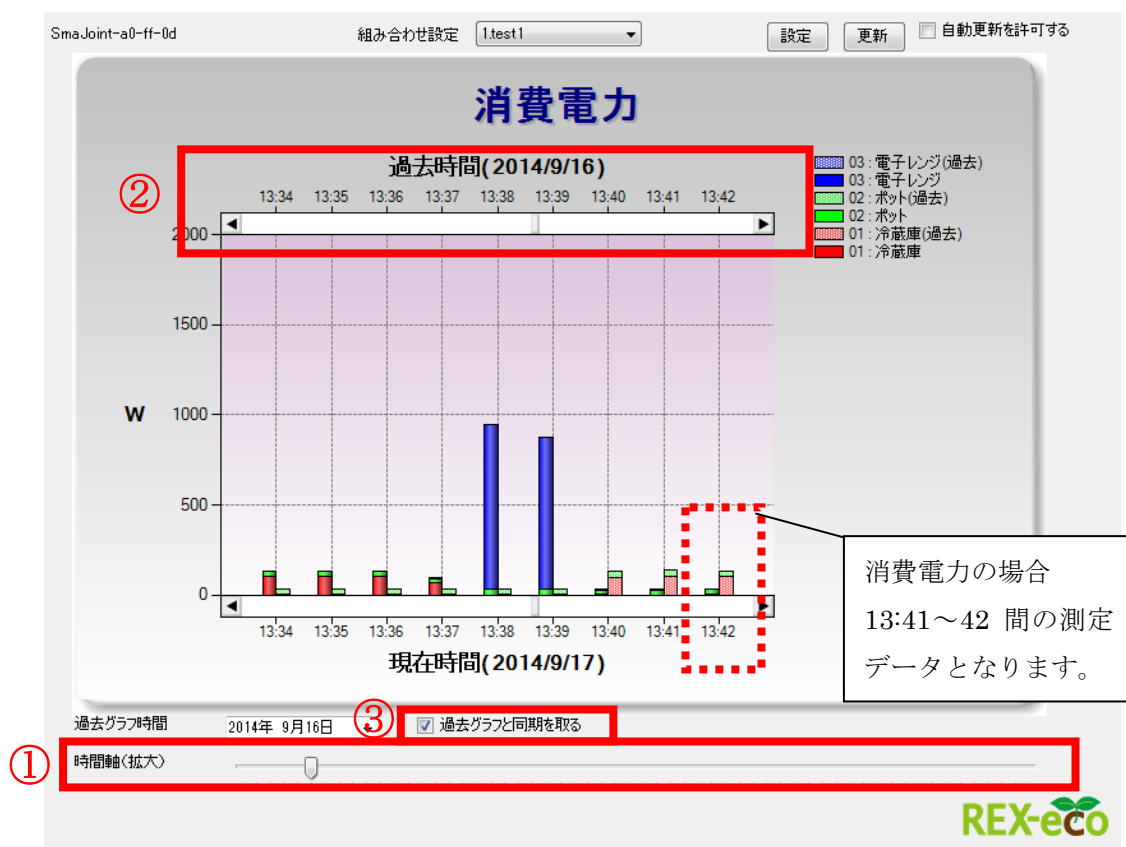


Win アプリ

[SmaJoint アクセス]-[グラフ表示]

「(3-2) グラフ表示」の[Outlet 選択]画面の[グラフタイプ]で「詳細グラフ」を設定した場合、詳細なグラフを表示することができます。

- ① 表示する時間幅を調整するスライダーバーが表示されます。
- ② [Outlet 選択]画面の[過去のグラフを表示する]にチェックを入れると、過去のグラフも同時に表示することができます。(過去のグラフの時間軸はグラフ上部に表示されます。SmaJoint には最大で 1440 個までのデータが保存されます。)
- ③ [過去グラフと同期を取る]にチェックを入れると、現在時間と同時刻の過去グラフが表示されます。



スライダーバーを右方向にスライドさせると、より長時間分の表示となり、グラフ表示も細かくなります。

スライダーバーを左方向にスライドさせると、より短時間分の表示となり、グラフ表示も大きくなります。

(3-4) SmaJoint のアドレス設定とアラーム通知設定

Web アプリ

[本体設定]-[基本設定]-[ネットワーク設定]

SmaJoint に割り当てるネットワークアドレスの設定を行えます。
また、設定した電力量を超えた場合や SmaTap8 の異常発生時にアラーム通知する PC の IP アドレスを指定することができます。

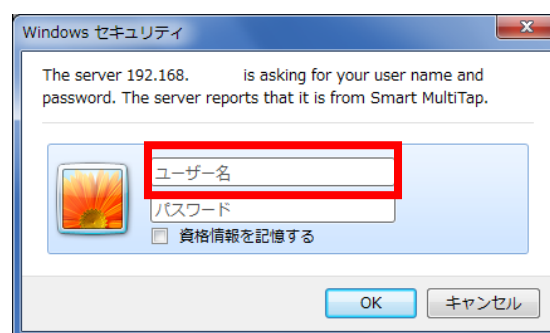
本体設定を行う場合、設定したユーザー名とパスワードが必要となります。

[デフォルト設定]

ユーザー名：admin

パスワード：なし(空白)

「(3-8) 管理者用パスワードの設定/
SmaJoint 名変更・リセット」でパスワード設定を行います。



[ネットワークアドレス設定]

SmaJoint の IP アドレスの設定を行います。

(工場出荷時：192.168.0.111)

[HTTP サーバー設定]

Web ブラウザの待ち受けポートを設定します。

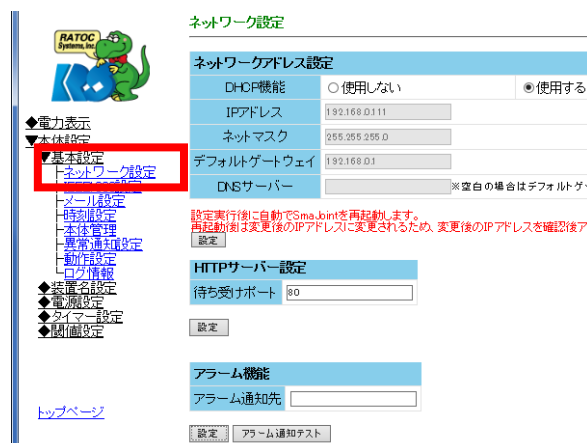
(1~65535)

(工場出荷時：80)

[アラーム機能]

「異常通知設定」「閾値設定」でのアラーム通知先の IP アドレスを指定します。

- ※ アラーム通知先 PC では本アプリケーションが起動し、通知ファイルが存在している必要があります。
- ※ アラーム通知先 PC の IP アドレスは固定にしておく必要があります。

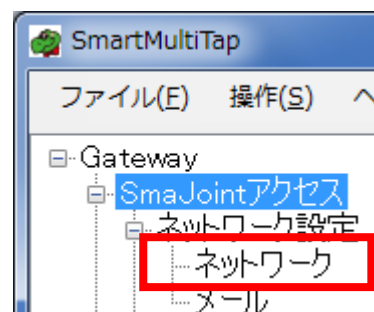


Win アプリ

[SmaJoint アクセス]-[ネットワーク]

SmaJoint のネットワーク設定の確認を行えます。

また、設定した電力量を超えた場合「閾値設定」や SmaTap8 の異常発生時「SmaTap 異常通知設定」にメッセージ画面と wav ファイルで通知を行うことができます。



① 「(3-14) 閾値設定」

「(3-9) SmaTap8 異常通知設定と名称変更」でのアラーム通知先の IP アドレスを指定します。

アラーム通知時はメッセージ画面が表示されますが、

wav ファイルでもアラーム通知する場合は「参照」より wav ファイルを選択し「通知ファイル使用」にチェックを入れます。

※ アラーム通知先 PC では本アプリケーションが起動し、通知ファイルが存在している必要があります。

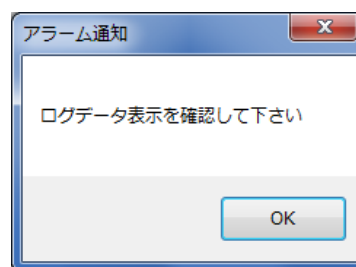
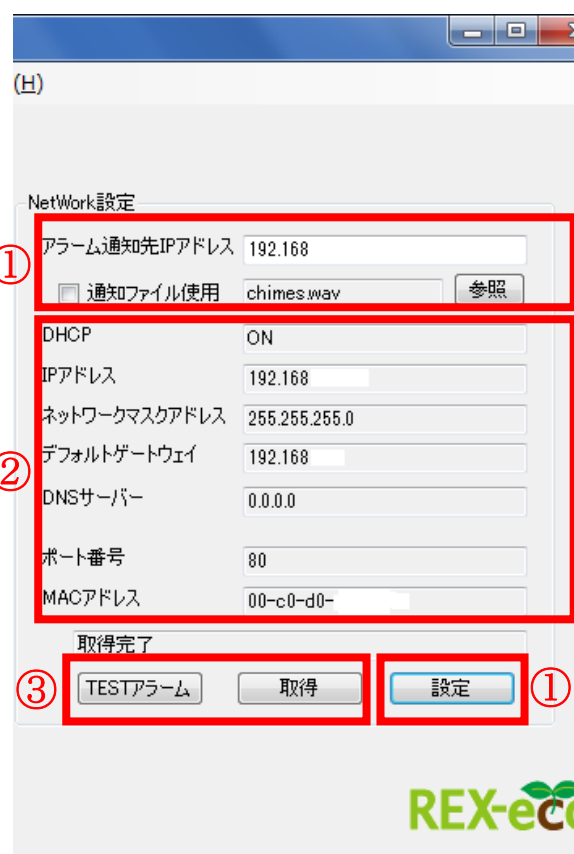
※ アラーム通知先 PC の IP アドレスは固定しておく必要があります。

② SmaJoint のネットワーク設定を確認することができます。

(ポート番号「デフォルト：80」は Web アプリから変更可能です。)

③ 「TEST アラーム」をクリックするとテスト通知が行われます。

「取得」をクリックすると現在の設定内容が表示されます。



(3-5) Storage への接続設定

Web アプリ

[本体設定]-[基本設定]-[IEEE1888 設定]

Storage 用サーバーPC にデータ保存する場合は [使用する] を選択し、 [ホストアドレス] に 「(別冊) Storage 用サーバー PC の準備」 で設定した IP アドレスを入力し「設定」をクリックします。

[サーバーパス][プレフィックス] は変更する必要はありません。

IEEE1888設定

IEEE1888設定

機能 使用しない 使用する

ホストアドレス

サーバーパス

プレフィックス

設定

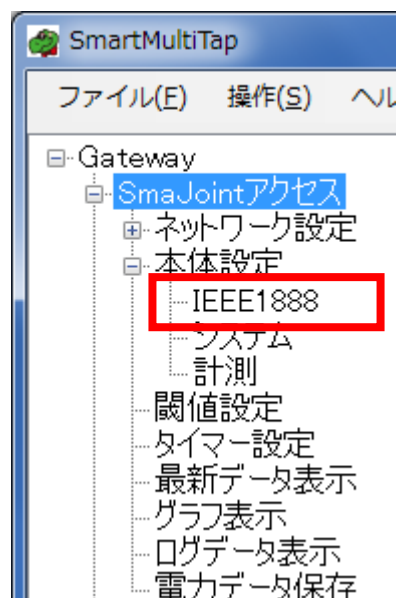
Copyright (C) 2014 RATOC Systems, Inc. All Rights Reserved.

トップページ

Win アプリ

[SmaJoint アクセス]-[本体設定]-[IEEE1888]

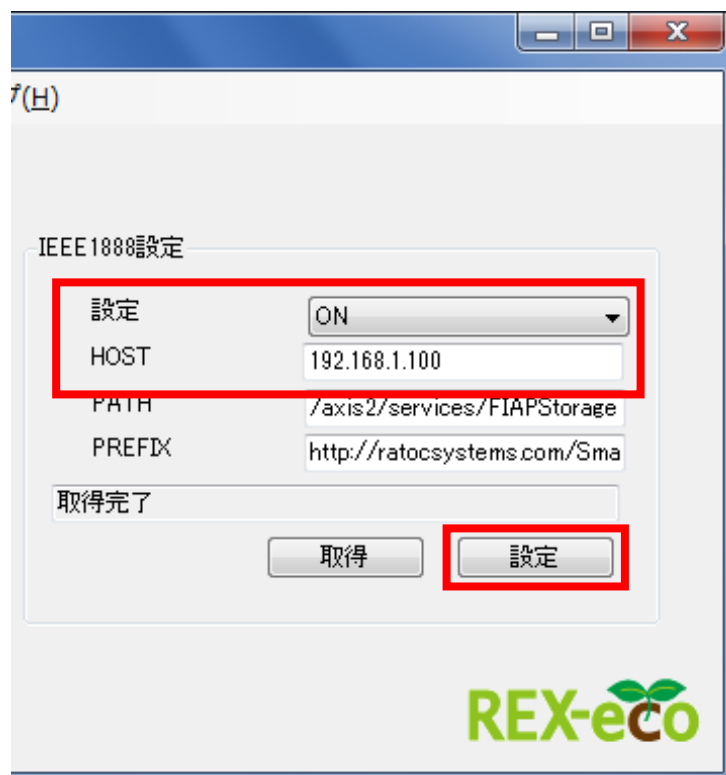
Storage用サーバーPCのIPアドレスの設定を行います。



Storage用サーバーPCにデータ保存する場合は[設定]を「ON」、[HOST]に「(別冊) Storage用サーバーPCの準備」で設定したIPアドレスを指定し「設定」をクリックします。

「取得」をクリックすると現在の設定内容が表示されます。

IEEE1888SDKを使用する場合は、[PATH][PREFIX]を変更する必要はありません。



※ 例えば Storage サーバーPC のポート番号を「8080」に変更した場合は「192.168.1.100:8080」のようにコロンとポート番号を指定します。(ポート番号が 80 の場合は指定する必要はありません。)

(3-6) メール通知設定

Web アプリ

[本体設定]-[基本設定]-[メール設定]

設定した電力量を超えた場合や SmaTap8 の異常発生時にメールで通知することができます。

[メール送信設定(SMTP)]

メール通知で使用する送信元の SMTP サーバーについて設定し「設定」をクリックします。

[登録メールアドレス]

通知先のメールアドレスを入力し「登録」をクリックします。(5件まで)

[テストメール送信]

テストメールを送信します。

メール設定

メール送信設定(SMTP)

サーバーアドレス

サーバーポート 25

送信者アドレス

SMTP認証 使用しない PLAIN CRAM-MD5 DIGEST

ユーザーID

パスワード

設定

登録メールアドレス

メールアドレス: 登録

テストメール送信 設定した内容でテストメールを送信します。

実行

◆電力表示
▼本体設定
▼基本設定
ネットワーク設定
メール設定
ログ情報
本体管理
異常通知設定
動作設定
◆装置名設定
◆電流設定
◆タイマー設定
◆閾値設定

トップページ

Win アプリ

[SmaJoint アクセス]-[ネットワーク設定]-[メール]

設定した電力量を超えた場合「(3-14) 閾値設定」やSmaTap8の異常発生時「(3-8) SmaTap8の異常通知設定と名称変更」にメールで通知することができます。



① メール通知で使用する送信元のSMTPについて設定し「設定」をクリックします。

② 通知先のメールアドレスを[送信先アドレス]に入力、送信者アドレスを入力し「設定」をクリックします。

「TESTメール」をクリックするとテストメールが送信されます。

「取得」をクリックすると現在の設定内容が表示されます。

(H)

SMTP

サーバーアドレス example.com

サーバーポート番号 25

認証方式 NONE

ユーザー名 test

パスワード *****

取得完了

取得 設定

①

メールアドレス

送信先アドレス

アドレス1 user@example.com

アドレス2

アドレス3

アドレス4

アドレス5

送信者アドレス

test@example.com

取得完了

TESTメール 取得 設定

②

REX-eco

(3-7) 時刻設定

Web アプリ

[本体設定]-[基本設定]-[時刻設定]

SmaJoint の時刻設定を行います。

[時刻設定]

手動で設定する場合は、日時を入力します。

OS から取得する場合は「OS から時間取得」をクリックします。

「設定」をクリックすることで時刻が反映されます。

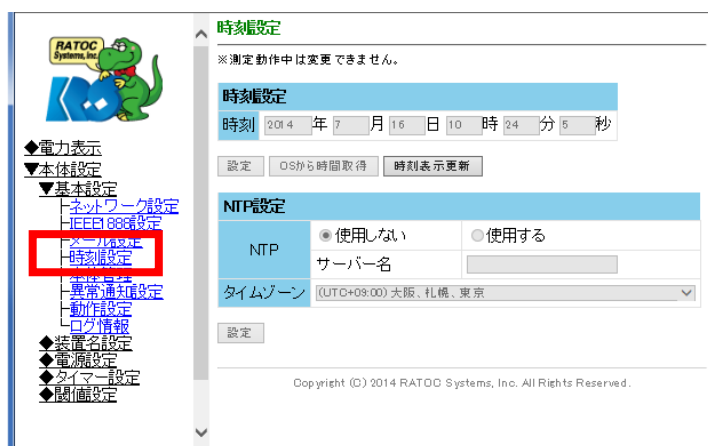
「時刻表示更新」をクリックすると、現在の時刻が表示されます。

[NTP 設定]

NTP サーバーから時刻を設定する場合は

[使用する]にチェックを入れ、

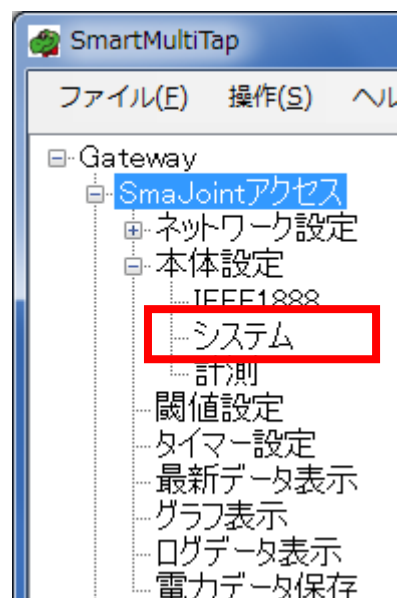
[サーバー名]を入力し「設定」をクリックします。



Win アプリ

[SmaJoint アクセス]-[本体設定]-[システム]

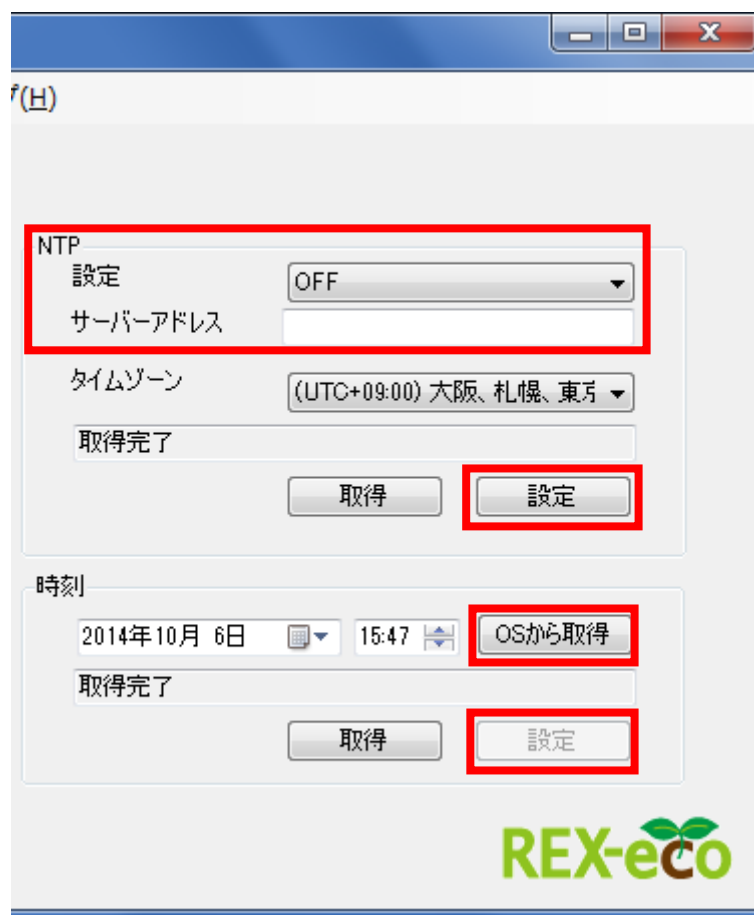
SmaJoint の時刻設定を行います。



NTP サーバーから時刻設定する場合は
[NTP]-[設定]を「ON」、
[サーバーアドレス]を入力し「設定」をクリックします。

手動で設定する場合は、日時を手動で設定、
また、OS から取得する場合は「OS から取得」をクリックし「設定」をクリックします。

「取得」をクリックすると現在の設定内容が表示されます。



(3-8) 管理者用パスワードの設定/SmaJoint 名変更・リセット

Web アプリ

[本体設定]-[基本設定]-[本体管理]

[ログインパスワード]

アプリケーションで設定を行う際に表示される認証画面のパスワードを設定します。

(デフォルトは「なし」)

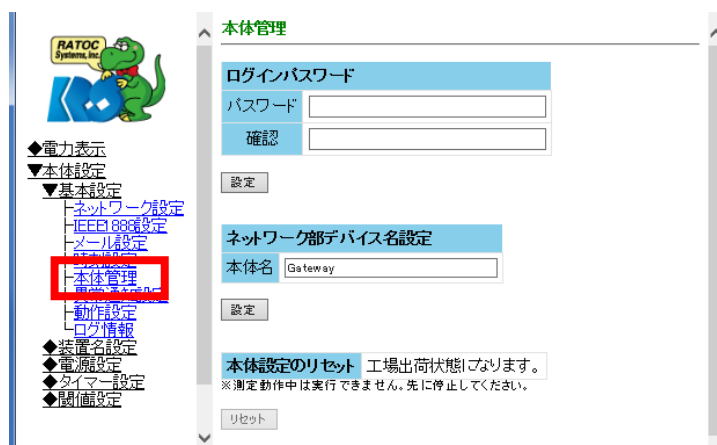
[ネットワーク部デバイス名設定]

SmaJoint の表示名を変更します。

[本体設定のリセット]

SmaJoint を工場出荷状態にリセットします。

IP アドレスは 192.168.0.111 にリセットされます。



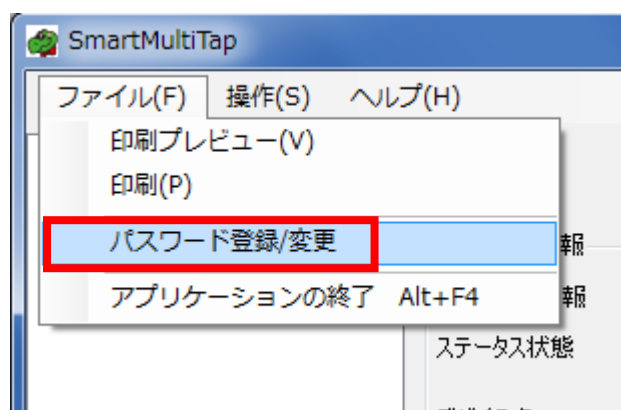
Win アプリ**[Gateway(SmaJoint 名)]**

※ Windows アプリケーションに SmaJoint をリセットする機能はありません。

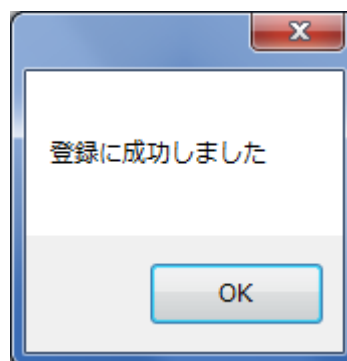
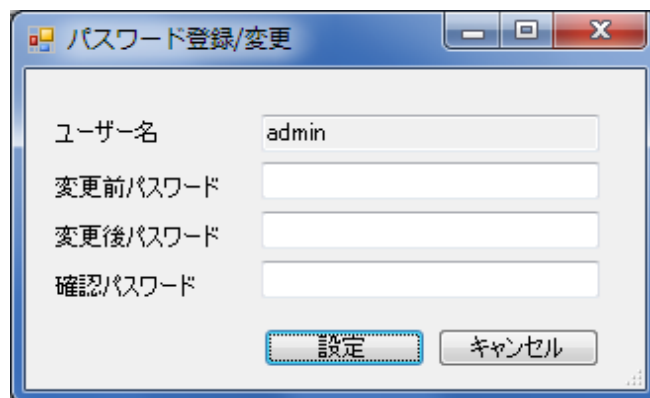
■ 管理者用パスワードの変更

アプリケーションで設定を行う際に表示される認証画面のパスワードを設定します。(デフォルトは「なし」)

パスワードを変更するには[ファイル(F)]メニューの「パスワード登録/変更」をクリックします。



変更前のパスワードと変更後のパスワード/確認用パスワードを入力して「設定」をクリックします。



■ SmaJoint 名の変更

SmaJoint 名(出荷時の名称は Gateway)を選択すると SmaJoint の情報が表示されます。



[VERSION 情報] -- Firmware バージョン(アップデート用 Firmware バージョン)

[接続状態] -- 通常(測定停止中)/測定中/異常状態(SmaJoint の内部メモリの故障または内部電池切れ)

[SmaJoint 名] -- SmaJoint の表示名を変更することができます。

変更するには「設定」ボタンをクリックします。

[SmaTap 再接続] -- SmaTap8 の再接続や SmaTap8 を増設した場合にクリックすると、現在の設定内容で引き続き動作します。

[取得] -- 現在の SmaJoint の情報を取得・再表示します。

[設定] -- [デバイス名]を変更する場合に使用します。

(3-9) SmaTap8 の異常通知設定と名称変更



[本体設定]-[基本設定]-[異常通知設定]

SmaTap8 に異常が発生した場合にアラームまたはメールで通知します。

[異常通知設定]

異常時に通知する項目にチェックを入れ

「設定」をクリックします。
 (アラーム通知設定については「(3-4) SmaJoint のアドレス設定とアラーム通知設定」を、
 メール通知設定については「(3-6) メール通知設定」をご参照ください。)

[本体設定]-[装置名設定]-[SmaTapID]

SmaTap8 の名称および Outlet の名称を変更することができます。

SmaTap 名および Outlet 名を変更後「設定」をクリックすると反映されます。

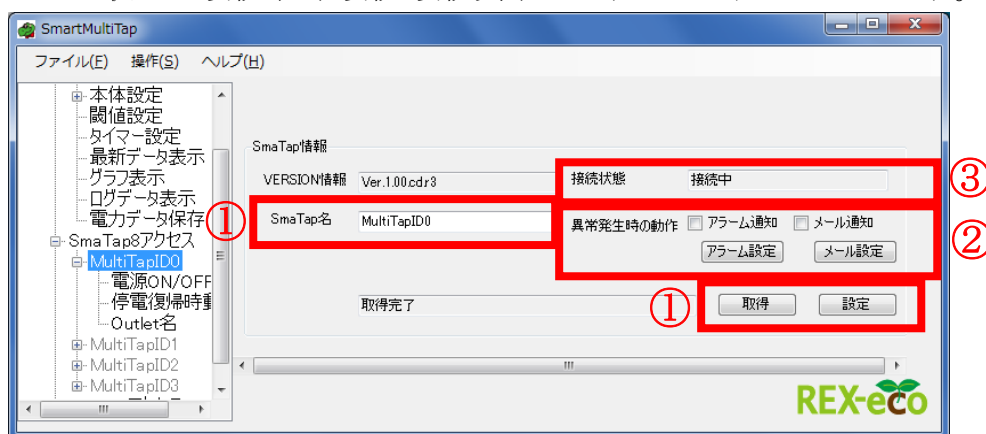


[SmaTap8 アクセス]-[MultiTapID]

■ SmaTap8 の異常通知設定 / SmaTap8 の名称変更

ツリー表示より SmaTap8 のデバイス名をクリックすると、[SmaTap 情報]が表示されます。

- ① [デバイス名]を入力し「設定」をクリックすることによりデバイス名を変更することができます。
「取得」をクリックすると現在の設定が表示されます。
- ② 異常発生時のアラーム設定については「(3-4) SmaJoint のアドレス設定とアラーム通知設定」を、
メール設定については「(3-6) メール通知設定」をご参照ください。
- ③ ステータス状態は接続中/未接続/接続異常のいずれかの表示となります。

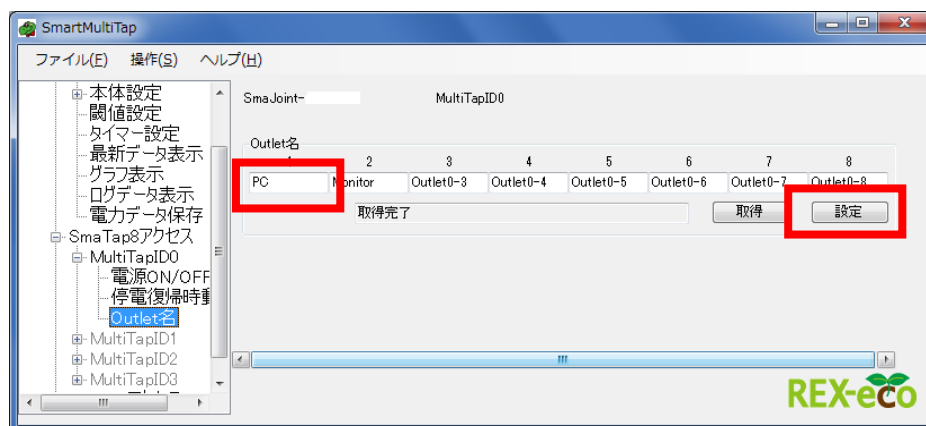


[SmaTap8 アクセス]-[MultiTapID]-[Outlet 名]

■ Outlet 名の変更

各 Outlet の表示名を入力し「設定」をクリックすると設定されます。

「取得」をクリックすると現在の設定が表示されます。



(3-10) 計測開始・停止設定

Web アプリ

[本体設定]-[基本設定]-[動作設定]

[現在の日時]

「更新」をクリックすると現在の時刻表示に更新されます。

[測定ステータス]

電力測定のリスタート・停止を設定します。

[動作設定]

測定間隔を

[1/5/10/15/20/30/60](分)から選択、

「設定」をクリックします。

※ 閾値設定での時間設定は、測定間隔に合わせた設定にしてください。

各時間の 00 分 00 秒を起点とした設定時間毎に測定が行われます。

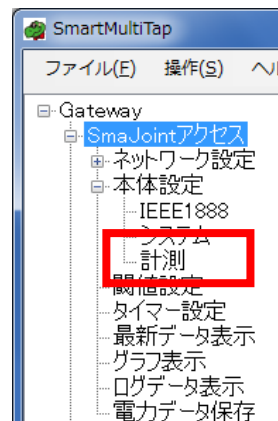
例) 00 時 00 分 01 秒に測定を開始設定した場合

- 1 分設定 ⇒ 00 時 01 分 00 秒に測定開始
- 5 分設定 ⇒ 00 時 05 分 00 秒に測定開始
- 10 分設定 ⇒ 00 時 10 分 00 秒に測定開始
- 15 分設定 ⇒ 00 時 15 分 00 秒に測定開始
- 20 分設定 ⇒ 00 時 20 分 00 秒に測定開始
- 30 分設定 ⇒ 00 時 30 分 00 秒に測定開始
- 60 分設定 ⇒ 01 時 00 分 00 秒に測定開始

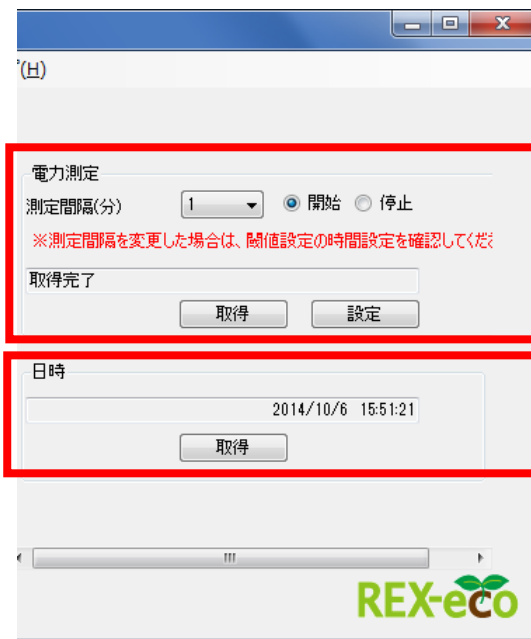


[SmaJoint アクセス]-[本体設定]-[計測]

指定した時間間隔の電力測定を開始
または電力測定を停止します。



計測を開始する場合は
[測定間隔(分)]を
[1/5/10/15/20/30/60]から選択、[開始]を選
択し「設定」をクリックします。
停止する場合は[停止]を選択し「設定」を
クリックします。
「取得」をクリックすると現在の設定内容
が表示されます。



[日時]の「取得」をクリックすると
SmaJoint に設定された時間を確認するこ
とができます。
(計測を開始する前に必ず時刻設定がされてい
ることを確認してください。)

※ 閾値設定での時間設定は、測定間隔に合わせた設定にしてください。
各時間の 00 分 00 秒を起点とした設定時間毎に測定が行われます。

例) 00 時 00 分 01 秒に測定を開始設定した場合

- 1 分設定 ⇒ 00 時 01 分 00 秒に測定開始
- 5 分設定 ⇒ 00 時 05 分 00 秒に測定開始
- 10 分設定 ⇒ 00 時 10 分 00 秒に測定開始
- 15 分設定 ⇒ 00 時 15 分 00 秒に測定開始
- 20 分設定 ⇒ 00 時 20 分 00 秒に測定開始
- 30 分設定 ⇒ 00 時 30 分 00 秒に測定開始
- 60 分設定 ⇒ 01 時 00 分 00 秒に測定開始

(3-11) ログ情報



[本体設定]-[基本設定]-[ログ情報]

ログ一覧が表示されます。

表示されるログは最大100件までとなり、100件を超えると古いログから上書きされます。

表示されるログの一覧については、「(4-1) ログ一覧」をご参照ください。

ログ情報

```

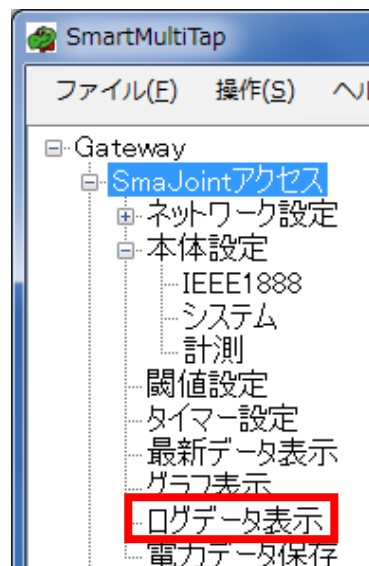
2014-10-06 17:12:01 [INFO ] : SYSTEM : Tap connection. (100)
2014-10-06 17:12:01 [INFO ] : SYSTEM : Tap un-connecting. (101)
2014-10-06 17:12:01 [INFO ] : SYSTEM : Tap un-connecting. (102)
2014-10-06 17:12:01 [INFO ] : SYSTEM : Tap un-connecting. (103)
2014-10-06 17:12:01 [INFO ] : SYSTEM : system start.
2014-10-06 17:12:03 [ERROR] : IEEE1888 : request to [192.168.   ].
2014-10-06 17:12:03 [ERROR] : IEEE1888 : request error. (-103)
2014-10-06 17:13:05 [INFO ] : SYSTEM : measure start.
    
```

最新状態に更新 クリア



[SmaJoint アクセス]-[本体設定]-[ログデータ表示]

設定変更やエラー内容のログを確認することができます。



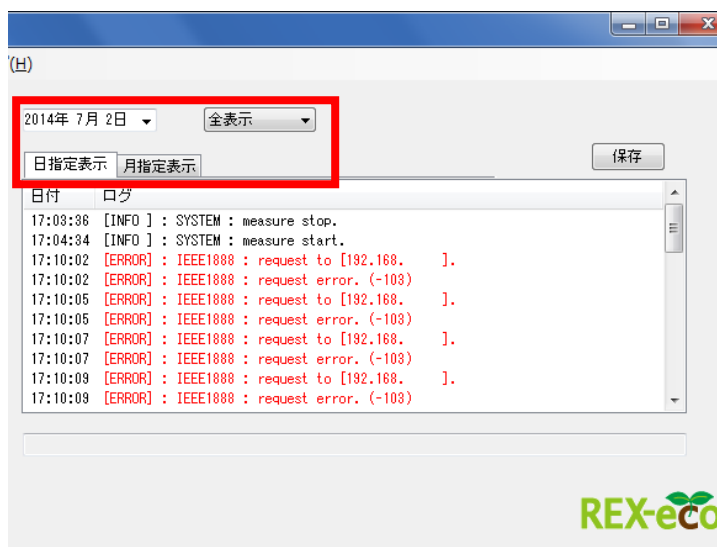
表示する内容を[全表示]または[INFO][ERROR][WARN]のうち 1 つで指定します。

[日指定表示][月指定表示]で表示期間を切り替えます。

「保存」で CSV 保存することができます。

表示されるログは最大 100 件までとなり、100 件を超えると古いログから上書きされます。

表示されるログの一覧については、「(4-1) ログ一覧」をご参照ください。



	A	B	C	D	E	F
1	17:03:36	[INFO]	: SYSTEM :	measure stop.		
2	17:04:34	[INFO]	: SYSTEM :	measure start.		
3	17:10:02	[ERROR]	: IEEE1888 :	request to [192.168.].	
4	17:10:02	[ERROR]	: IEEE1888 :	request error. (-103)		
5	17:10:05	[ERROR]	: IEEE1888 :	request to [192.168.].	
6	17:10:05	[ERROR]	: IEEE1888 :	request error. (-103)		
7	17:10:07	[ERROR]	: IEEE1888 :	request to [192.168.].	
8	17:10:07	[ERROR]	: IEEE1888 :	request error. (-103)		
9	17:10:09	[ERROR]	: IEEE1888 :	request to [192.168.].	
10	17:10:09	[ERROR]	: IEEE1888 :	request error. (-103)		
11	17:10:11	[ERROR]	: IEEE1888 :	request to [192.168.].	
12	17:10:11	[ERROR]	: IEEE1888 :	request error. (-103)		

[保存したデータを Excel で開いた場合]

(3-12) Outlet の電源設定

各 Outlet の電源状態を変更することができます。



[本体設定]-[基本設定]-[ログ情報]

[電源設定]

設定変更後に「設定」をクリックすると反映されます。

[SmaTap 電源の初期状態設定]

SmaTap8 の電源投入時の各 Outlet の電源状態を設定します。

設定変更後に「設定」をクリックすると反映されます。

電源設定

SmaTap ID 0: MultiTapID0

電源設定		
	状態	設定
No.1: WATTCH+PC	ON	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
No.2: Outlet0-2	ON	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
No.3: Outlet0-3	ON	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
No.4: Outlet0-4	ON	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
No.5: Outlet0-5	ON	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
No.6: Outlet0-6	ON	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
No.7: Outlet0-7	ON	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
No.8: Outlet0-8	ON	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON

設定

SmaTap電源の初期状態設定		
	状態	設定
No.1: WATTCH+PC	電源保持	<input type="radio"/> 電源OFF <input checked="" type="radio"/> 最後の状態を保持
No.2: Outlet0-2	電源保持	<input type="radio"/> 電源OFF <input checked="" type="radio"/> 最後の状態を保持
No.3: Outlet0-3	電源保持	<input type="radio"/> 電源OFF <input checked="" type="radio"/> 最後の状態を保持
No.4: Outlet0-4	電源保持	<input type="radio"/> 電源OFF <input checked="" type="radio"/> 最後の状態を保持
No.5: Outlet0-5	電源保持	<input type="radio"/> 電源OFF <input checked="" type="radio"/> 最後の状態を保持
No.6: Outlet0-6	電源保持	<input type="radio"/> 電源OFF <input checked="" type="radio"/> 最後の状態を保持
No.7: Outlet0-7	電源保持	<input type="radio"/> 電源OFF <input checked="" type="radio"/> 最後の状態を保持
No.8: Outlet0-8	電源OFF	<input checked="" type="radio"/> 電源OFF <input type="radio"/> 最後の状態を保持

設定

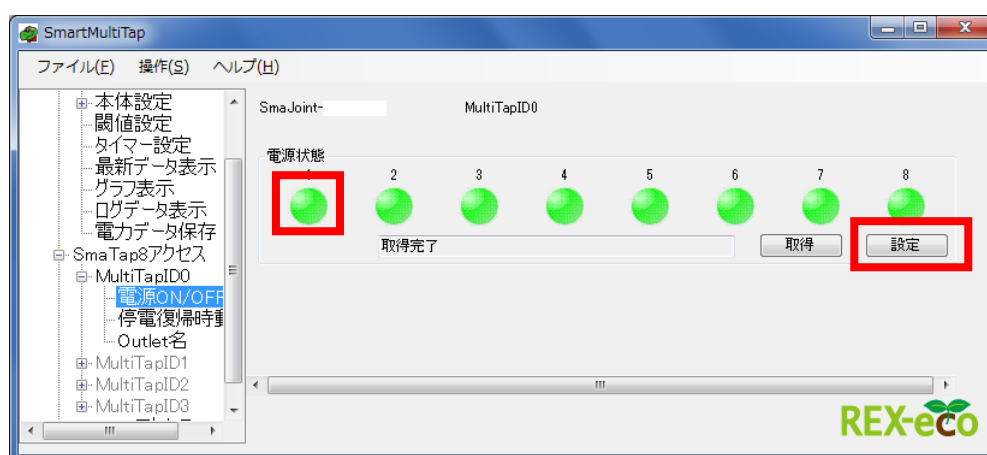
Win アプリ

[SmaTap8 アクセス]-[MultiTapID]-[電源 ON/OFF]

■ 電源 ON/OFF 設定

各ボタンアイコンをクリックして ON/OFF を切り替え「設定」をクリックすると電源状態が反映されます。

「取得」をクリックすると現在の電源 ON/OFF 状態が表示されます。



[SmaTap8 アクセス]-[MultiTapID]-[停電復帰時動作]

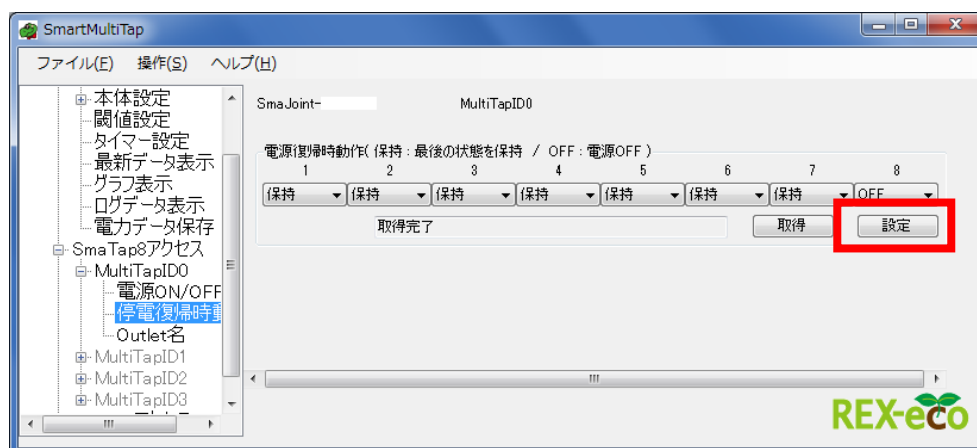
■ 電源投入時の設定

SmaTap8の電源投入時(停電からの復帰時など)の各Outletの電源状態を設定します。

各Outletの保持/OFFを設定し「設定」をクリックすると設定されます。

(OFFとなっているOutletをONにすることはできません。)

「取得」をクリックすると現在の設定が表示されます。



(3-13) タイマー設定



[本体設定]-[タイマー設定]-[MultiTapID]

各 Outlet の電源設定の予約を行うことができます。

(1つの Outlet あたり 10 までの予約設定が可能です。)

登録番号/有効・無効/動作/日時を設定し「登録」をクリックします。

タイマー設定
SmaTap ID 0 : MultiTapID0
Outlet No.1 : Outlet0-1

No.	有効	電源	曜日	日時	変更	削除
No.1	有効	電源 ON	月火水木金	08:30	変更	削除
No.2	有効	電源 ON	金	20:00	変更	削除
No.3	無効	電源 OFF	日土	08:30	変更	削除
No.4	無効	電源 OFF	2014/09/09	08:30	変更	削除

登録
登録番号 1

設定
 有効 無効

動作
 電源 ON 電源 OFF

条件
 曜日指定
 日 月 火 水 木 金 土

日付指定
2014 年 9 月 9 日

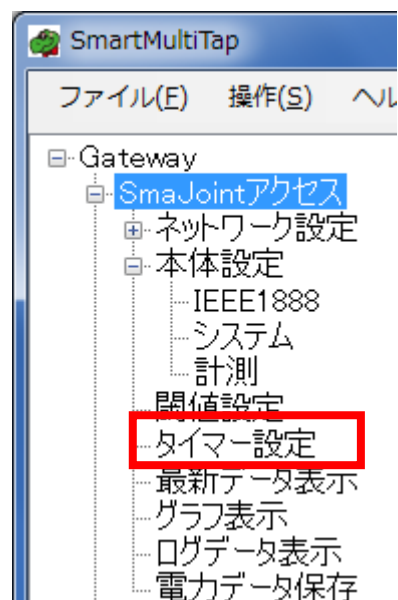
指定時間
14 時 37 分

登録

Win アプリ

[SmaJoint アクセス] - [タイマー設定]

指定した日時に各 Outlet の電源 ON/OFF を設定することができます。



設定する Outlet と予約番号を選択し、

- ・ 設定の有効/無効
- ・ 電源状態
- ・ 曜日(毎週設定)または日時設定

を選択し「設定」をクリックします。

(1つの Outlet あたり 10 までの予約設定が可能です。)

「取得」をクリックすると現在の設定内容が表示されます。

「削除」をクリックすると選択した予約番号の設定が削除されます。



(3-14) 閾値設定

Web アプリ

[本体設定]-[閾値設定]-[MultiTapID]

指定した Outlet における指定期間内の消費電力量または消費電力が、設定した値を超えた場合に、アラーム・メール通知または電源 OFF にすることができます。

閾値設定

SmaTap ID 0 : MultiTapID0

登録番号	設定	種別	閾値	開始時間	終了時間	動作	対象アウトレット
No.1	有効	電力量	500 Wh	09:00	18:00	ALARM/SW OFF/MAIL	1 2 3 4 5 6 7 8

登録/更新
登録番号: 1

設定
 有効 無効

種別: 指定期間の消費電力

閾値: _____ W(範囲: 1~1500 W) [上限]

開始時間: 0 時 0 分
終了時間: 0 時 0 分

動作設定:
 アラーム通知 電源OFF メール通知

対象アウトレット
 No.1 No.2 No.3 No.4 No.5 No.6 No.7

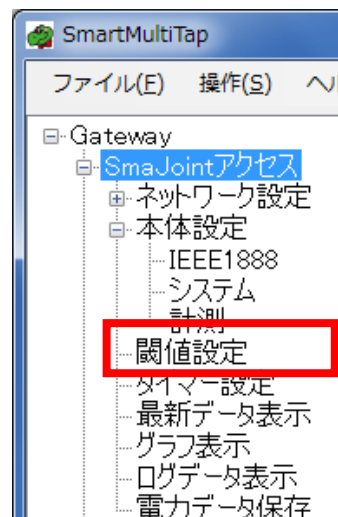
登録

- ① 登録番号、設定の有効/無効、監視する計測種別を選択し閾値を入力します。
(1つの MutiTapID あたり 30 までの予約設定が可能です。)
- ② 監視時間範囲と動作設定を行います。
(アラーム通知設定については「(3-4) SmaJoint のアドレス設定とアラーム通知設定」を、メール通知設定については「(3-6) メール通知設定」をご参照ください。)
- ③ 監視する Outlet にチェックを入れ「登録」をクリックします。

Win アプリ

[SmaJoint アクセス]-[閾値設定]

指定した期間内における、指定した Outlet の消費電力量が設定値を超えた場合や、消費電力の上限が設定値を超えた場合に、アラーム・メール通知または電源 OFF にすることができます。



① SmaTap 名、予約番号、[有効にする/無効にする]を選択し、監視する Outlet にチェックを入れます。

(1つの SmaTap あたり 30 までの予約設定が可能です。)

② 監視する時間を設定します。

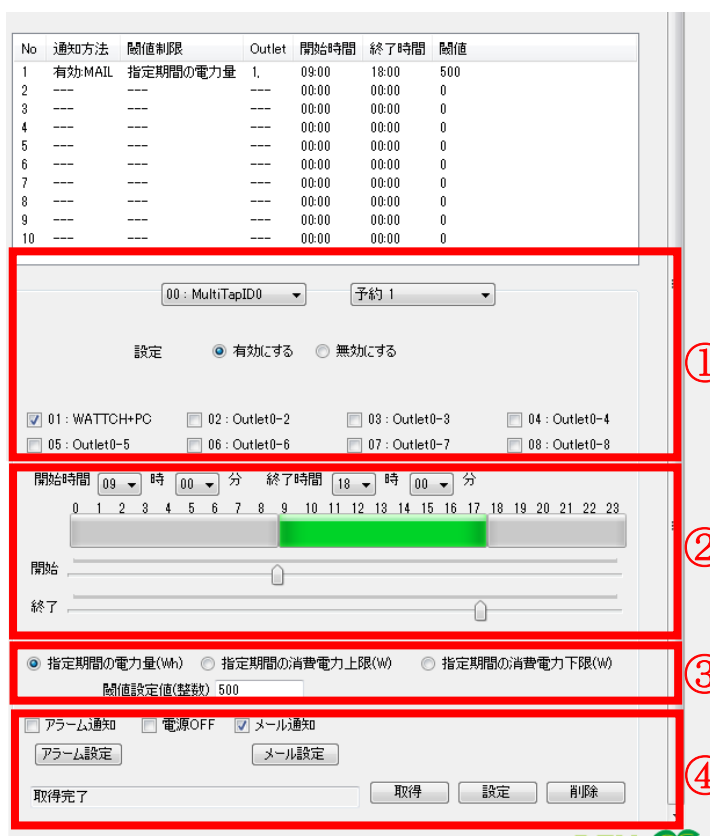
③ 監視項目にチェックを入れ、[閾値設定値]を入力します。

(1W 単位での設定となります。小数点の設定は反映されません。)

④ 動作設定にチェックを入れ「設定」をクリックします。

「取得」をクリックすると現在の設定内容が表示されます。

「削除」をクリックすると選択されている予約番号の設定が削除されます。



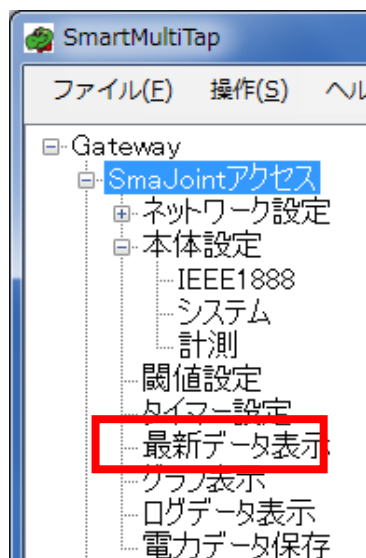
アラーム設定については「(3-4) SmaJoint のアドレス設定とアラーム通知設定」を、メール設定については「(3-6) メール通知設定」をご参照ください。

(3-15) 最新データ表示[Win アプリのみ]



[SmaJoint アクセス]-[最新データ表示]

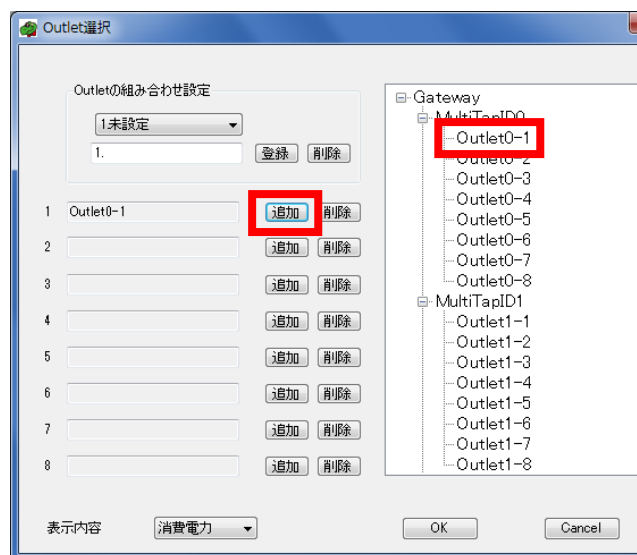
指定した Outlet の各計測値を表示します。



「設定」をクリックし
[表示する Outlet / 表示内容]を設定
します。



表示する Outlet 名を選択し「追加」をクリックし、必要な Outlet 分を追加します。



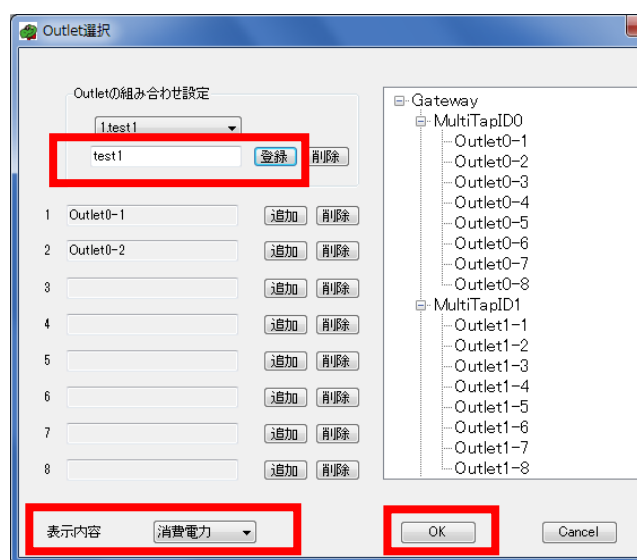
[Outlet の組み合わせ設定]

Outlet の組み合わせに名前を付けて登録することができます。

[表示内容]

表示する内容を[消費電力/ 総電力量 / 電圧 / 電流]から選択します。

「OK」をクリックして設定します。



最新の計測データが表示されます。

[組み合わせ設定]

登録済みの組み合わせに切り替えることができます。

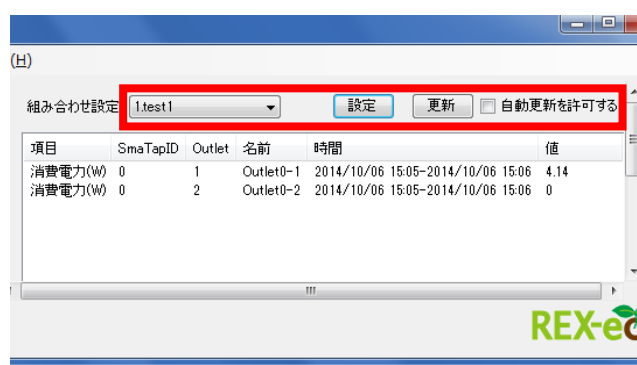
[更新]

最新のデータに更新されます。

[自動更新を許可する]

1分毎に最新のデータに更新されます。

グラフタイプと表示内容の説明については「(4-2) グラフ表示内容について[Winアプリ]」をご参照ください。



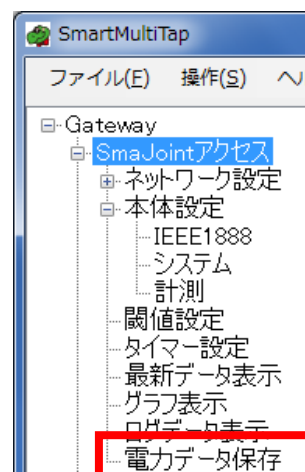
(3-16) 電力データ保存[Win アプリのみ]



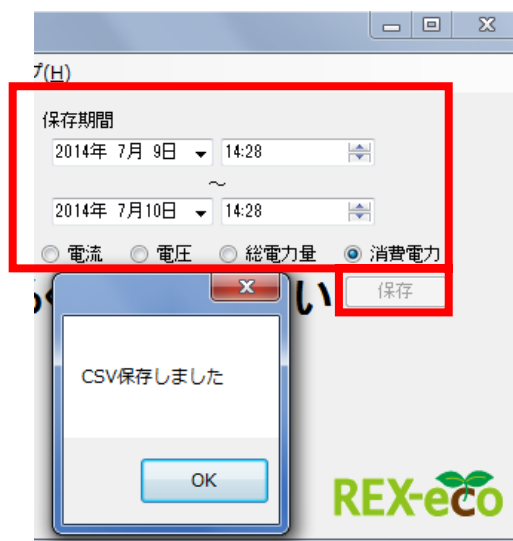
[SmaJoint アクセス]-[電力データ保存]

指定した期間内の全 Outlet における計測データを CSV ファイルに保存することができます。

※ 1つの Outlet あたり最大で 1440 個までのデータ保存となります。



期間と計測内容を指定し「保存」をクリックします。



	A	B	C	D	E
1	MultiTapID:0	コンセント1	コンセント2	コンセント3	コンセント4
2	2014/07/09-14:30:00-2014/07/09-14:30:00	1.674	1.146	5.202	0
3	2014/07/09-14:40:00-2014/07/09-14:40:00	1.68	1.134	5.22	0
4	2014/07/09-14:50:00-2014/07/09-14:50:00	1.674	1.14	5.214	0
5	2014/07/09-15:00:00-2014/07/09-15:00:00	1.68	1.14	5.214	0
6	2014/07/09-15:10:00-2014/07/09-15:10:00	1.668	1.14	5.202	0
7	2014/07/09-15:20:00-2014/07/09-15:20:00	1.674	18.138	99.318	0
8	2014/07/09-15:30:00-2014/07/09-15:30:00	1.668	27.486	155.196	0
9	2014/07/09-15:40:00-2014/07/09-15:40:00	1.674	27.9	168.756	0
10	2014/07/09-15:50:00-2014/07/09-15:50:00	1.674	4.17	23.154	0
11	2014/07/09-16:00:00-2014/07/09-16:00:00	1.68	1.14	5.202	0
12	2014/07/09-16:10:00-2014/07/09-16:10:00	1.674	1.146	5.202	0
13	2014/07/09-16:20:00-2014/07/09-16:20:00	1.674	1.14	5.196	0

[保存したデータを Excel で開いた場合]

(3-17) メニューバーについて[Win アプリのみ]

Win アプリ

各メニューバーの内容について説明します。



ファイル(F)

- ・ 印刷プレビュー -- 現在表示されているアプリケーションの画面の印刷プレビューを表示します。
- ・ 印刷 -- 現在表示されているアプリケーションの画面を印刷します。
- ・ パスワード登録/変更 -- 管理者用パスワードの登録を行います。
- ・ アプリケーションの終了 -- アプリケーションを終了します。

操作(S)

- ・ SmaJoint の追加/削除 -- アプリケーション上で表示する SmaJoint を設定します。(参照「(3-18) SmaJoint の追加と削除」)

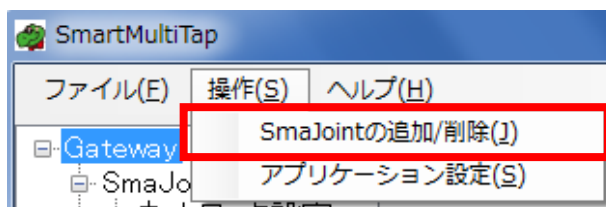
ヘルプ(H)

- ・ バージョン情報 -- 本アプリケーションのバージョンを表示します。

(3-18) SmaJoint の追加と削除[Win アプリのみ]

Win アプリ

アプリケーション上から制御する SmaJoint の追加と削除を行います。
[操作(S)]-[SmaJoint の追加/削除(J)]
をクリックします。



制御する SmaJoint にチェックを入れ「追加/削除」をクリックします。
アプリケーション上で表示しない場合はチェックを外しておきます。
追加する SmaJoint の IP アドレスが異なるセグメントに割り当てられている場合は「再検索」で検出されませんので、手動で IP アドレスを入力し「リストに追加/削除」をクリックします。



第4章 付録

(4-1) ログ一覧

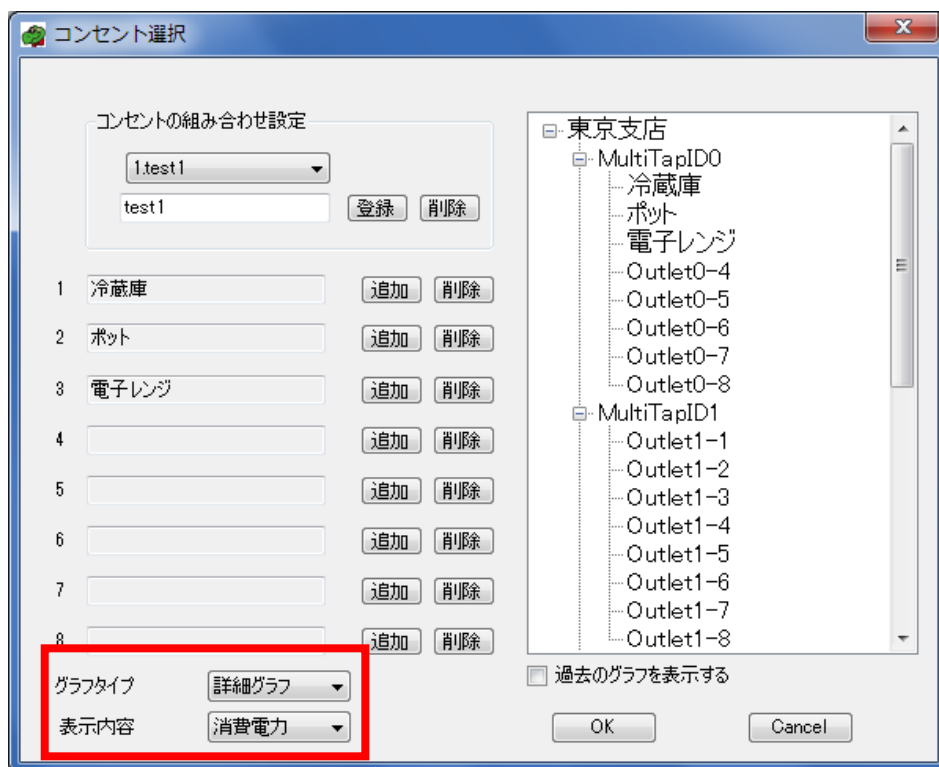
出力ログ	ステータス	説明
SYSTEM : system start.	INFO	SmaJoint 接続開始。
SYSTEM : measure start.	INFO	測定開始。
SYSTEM : measure stop.	INFO	測定終了。
SYSTEM : Timer Run. Tap IDx Outlet No.x Power => [ON/OFF].	INFO	タイマー実行。実行対象となったコンセント番号と実行した内容を表示 (ON or OFF)。
SYSTEM : Timer Disabled. Tap IDx Outlet No.x Regist No.x.	INFO	起動時に既にタイマー実行時間を過ぎていた場合に無効化されたことを表示。対象となったコンセント番号とタイマースケジュールの登録番号を出力する。
SYSTEM : Beyond Threshold. Tap IDx Outlet No.x.	WARNING	閾値設定を超えたことを表示。対象となったコンセント番号を出力する。
SYSTEM : Changed Tap's power switch is failed. (IDx)	ERROR	タップに対する電源変更処理が失敗したことを表示。対象となったタップ番号を出力する。
SYSTEM : Tap connect is failed. (IDx)	ERROR	タップ接続が異常となったことを表示。対象となったタップ番号を出力する。
SWITCH : Tap ID.x: x:[+/-]	INFO	コンセントの電源設定を変更したことを表示。対象となったタップ毎に表示する。コンセント番号は変更したもののみ出力する。 Ex) No.2, No.4 が ON, No.8 が OFF となった場合 2:+, 4:+, 8:-

SMTP : smtp server address is not set.	ERROR	メール送信のタイミングでSMTP サーバーアドレスが設定されていないことを表示。
SMTP : smtp server error. (x)	ERROR	メール送信のタイミングでSMTP サーバーの名前解決で失敗したことを表示。 2 : ネットワークエラー 5 : DNS サーバーが未登録 9 : ドメイン名のフォーマットが不正
SMTP ; send mail error. (x)	ERROR	メール送信で失敗したことを表示。 3 : SMTP サーバーからの受信に失敗した 9 : ネットワークエラー 10 : 接続タイムアウト 18 : 認証失敗 19 : 認証方式未サポート 22 : サーバーエラー 25 : 認証以外で接続失敗
TRAP : send trap. [xxx.xxx.xxx.xxx]	INFO	トラップ送信したことを表示。送信先の IP アドレスを出力する。
TRAP : ip address is not set.	WARNING	トラップ送信先が登録されていないことを表示。
SNTP : sntp start.	INFO	SNTP 動作開始を表示。
SNTP : request to [xxx.xxx.xxx.xxx]	INFO	リクエスト先サーバーの IP アドレス。
SNTP : update time success.	INFO	日時更新成功したことを表示。
SNTP : sntp server error. (x)	ERROR	サーバーの名前解決で失敗したことを表示。 2 : ネットワークエラー 5 : DNS サーバーが未登録 9 : ドメイン名のフォーマットが不正。

IEEE1888 : request to [xxx.xxx.xxx.xxx].	ERROR	IEEE1888 の WRITE 機能 のリクエスト先サーバーの IP アドレス。
IEEE1888 : request error. (x)	ERROR	IEEE1888 の WRITE 機能 で接続エラー。 -101 : DNS 名前解決エラー -103 : 接続エラー -104 : 通信エラー -105 : サーバーからエラー 受信 -106 : ホスト名不正
IEEE1888 : server error. (x)	ERROR	IEEE1888 接続時の名前解 決エラー。 -101 : DNS 名前解決エラー -106 : ホスト名不正
IEEE1888 TRAP : request to [xxx.xxx.xxx.xxx].	ERROR	IEEE1888 の TRAP 機能の リクエスト先サーバーの IP アドレス。
IEEE1888 TRAP : request error. (x)	ERROR	IEEE1888 の TRAP 機能で 接続エラー。 -101 : DNS 名前解決エラー -103 : 接続エラー -104 : 通信エラー -105 : サーバーからエラー 受信 -106 : ホスト名不正
IEEE1888 TRAP : server error. (x)	ERROR	IEEE1888 接続時の名前解 決エラー。 -101 : DNS 名前解決エラー -106 : ホスト名不正

(4-2) グラフ表示内容について[Win アプリ]

Windows アプリケーションの[Storage アクセス]-[グラフ表示]でのグラフタイプと表示内容について説明します。

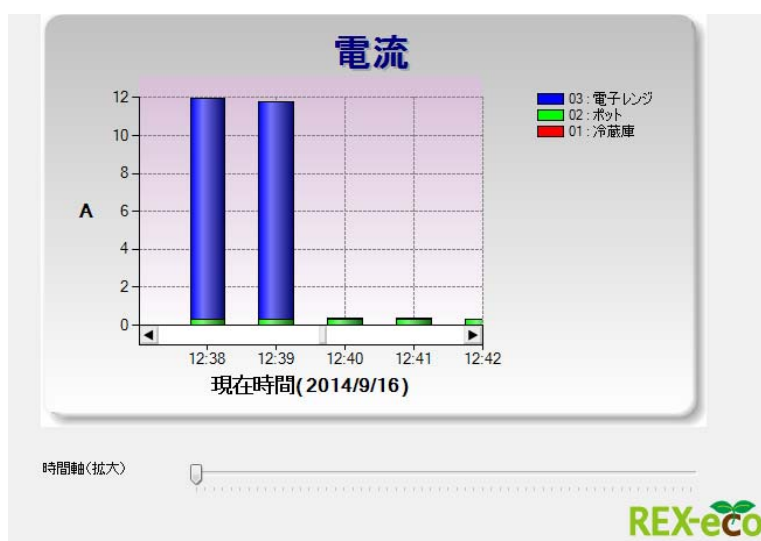


(4-2-1) 詳細グラフについて

詳細グラフでは、測定時間間隔で各測定データが表示されます。時間軸のスクロールバーを操作することで 2~60 点の測定データを表示することができます。

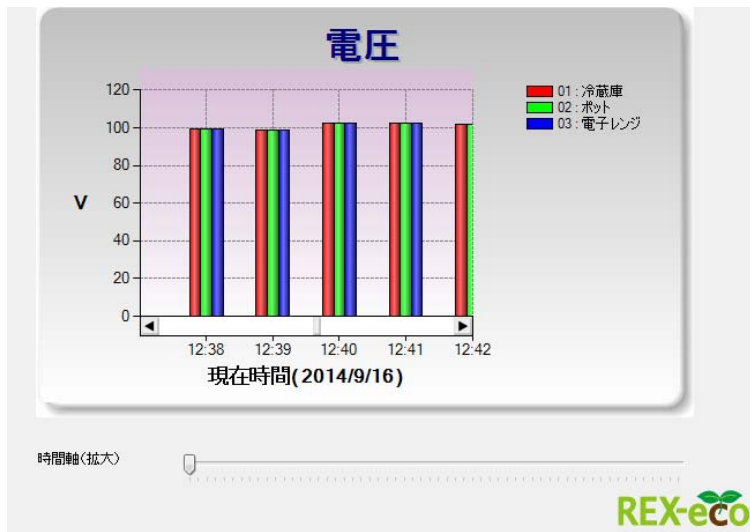
[詳細グラフ - 電流]

測定時刻における電流値を表示しています。



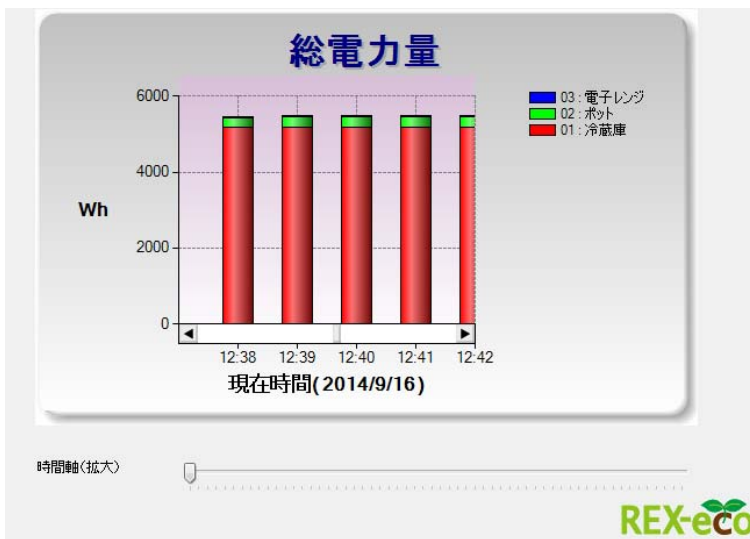
[詳細グラフ - 電圧]

測定時刻における電圧値を表示しています。



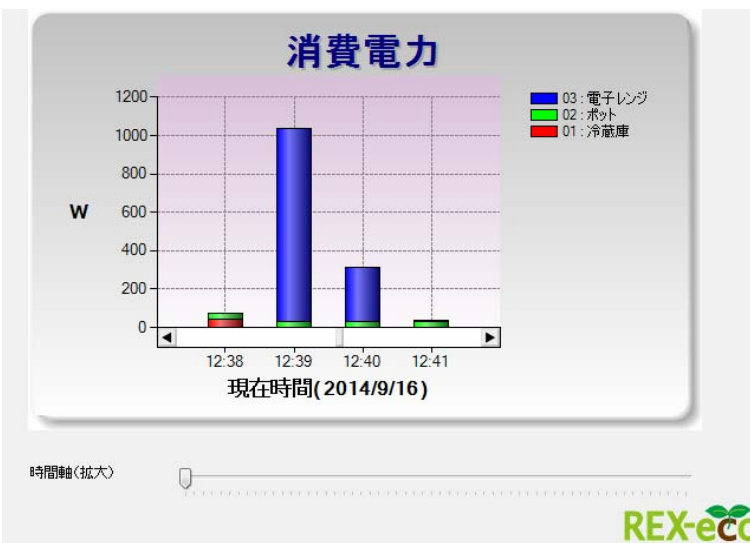
[詳細グラフ - 総電力量]

測定開始時から測定時刻までの総電力量を表示しています。



[詳細グラフ - 消費電力]

表示間隔内での消費電力の平均値を表示しています。

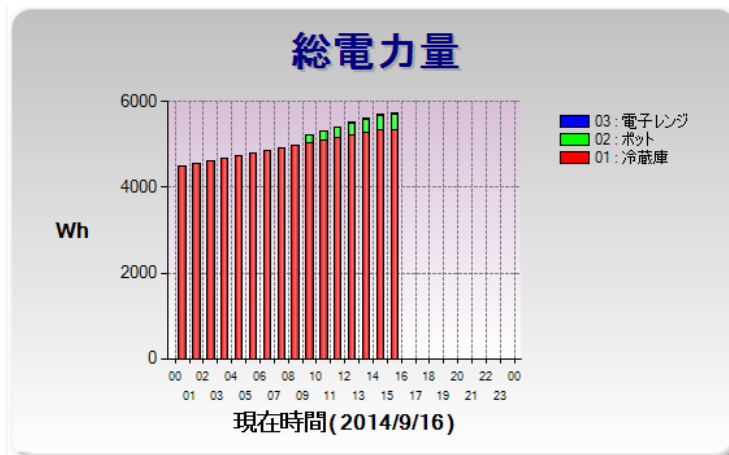


(4-2-2) 一日グラフについて

一日グラフでは、一日分の各測定データが1時間ごとに表示されます。

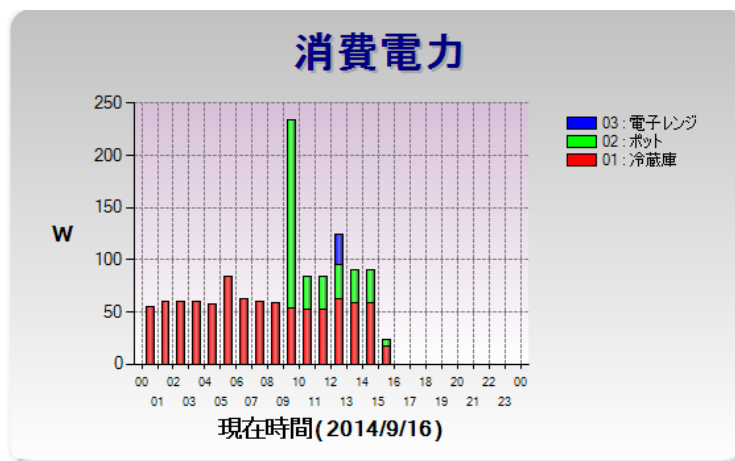
[一日グラフ - 総電力量]

測定開始時から表示時間内で最後に測定された時刻までの総電力量を表示しています。



[一日グラフ - 消費電力]

表示間隔内での消費電力の平均値を表示しています。

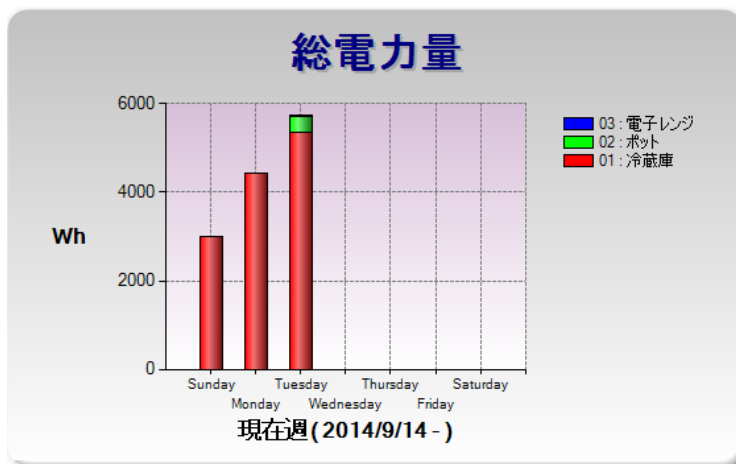


(4-2-3) 一週グラフについて

一週グラフでは、一週間分の各測定データが1日ごとに表示されます。

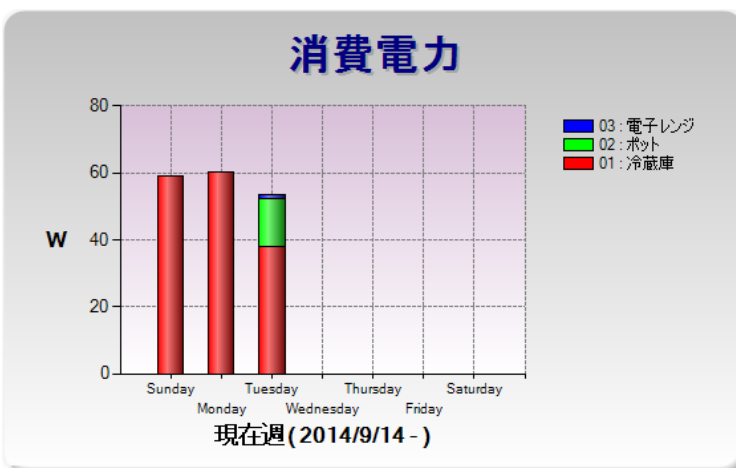
[一週グラフ - 総電力量]

測定開始時から測定日までの総電力量を表示しています。



[詳細グラフ - 消費電力]

各日の消費電力の平均値を表示しています。

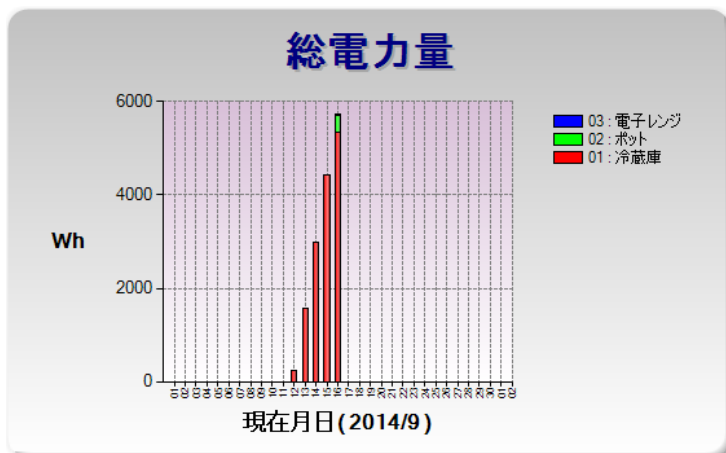


(4-2-4) 一月グラフについて

一月グラフでは、一か月分の各測定データが1日ごとに表示されます。

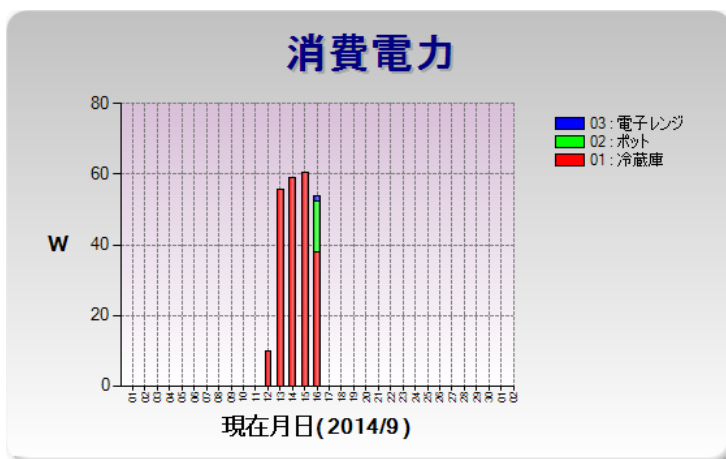
[一月グラフ - 総電力量]

測定開始時から測定日までの総電力量を表示しています。



[一月グラフ - 消費電力]

各日の消費電力の平均値を表示しています。

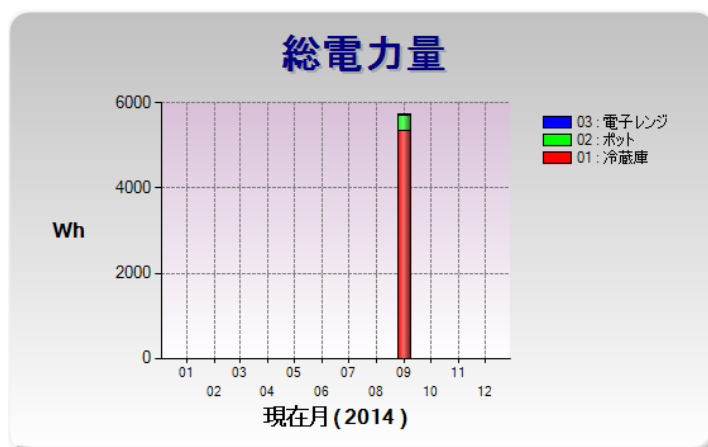


(4-2-5) 一年グラフについて

一年グラフでは、一年分の各測定データが一月ごとに表示されます。

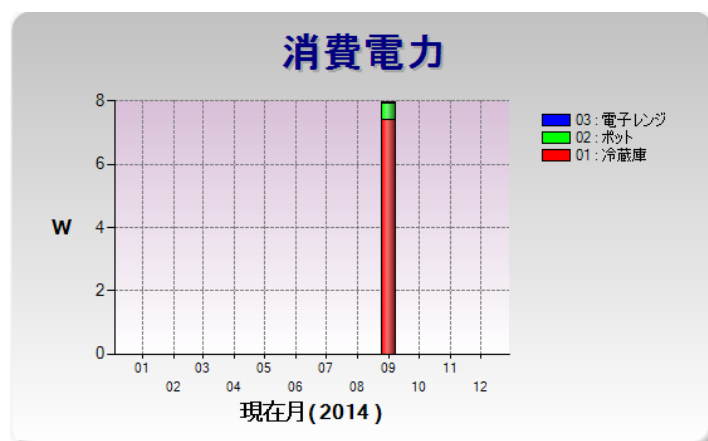
[一年グラフ - 総電力量]

測定開始時から各月末までの総電力量を表示しています。



[一年グラフ - 消費電力]

各月の消費電力の平均値を表示しています。



製品に関するお問い合わせ

Smart MultiTap の技術的なご質問やご相談の窓口を用意していますのでご利用ください。

ラトックシステム株式会社
I&L サポートセンター
〒556-0012
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

TEL. 06-6633-6741

FAX. 06-6633-8285


〈サポート受付時間〉

月曜－金曜（祝祭日は除く）AM 10:00 - PM 1:00

PM 2:00 - PM 5:00

また、インターネットのホームページでも受け付けて
います。

HomePage ⇨ <http://www.ratocsystems.com>

 **ご注意**

- ☑本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ☑本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡願います。
- ☑本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商品または登録商標です。
- ☑運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Smart MultiTap FAX 質問用紙 (このページをコピーしてご使用ください)

●下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名			
	所属部署			
ご担当者名				
E-Mail				
住所	〒			
TEL		FAX		
シリアルNo.				
ご購入情報	販売店名		ご購入日	

●下記運用環境情報とお問い合わせ内容をご記入願います。

【パソコン/マザーボードのメーカー名と機種名】
【ご利用の OS】
【接続機器】
【お問合せ内容】
【添付資料】

 個人情報の取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。

